像で緊定さなつてるた滿纖經濟調查會の擴充強化を中心さした滿寒社内調查、立案、企畫橋の改革を招來するものこ内外さもに期待と滿纖內外において響かに研究されてゐるが、 権の改革を招來するものこ內外さもに期待と滿纖內外において響かに研究されてゐるが、 在滿行政新機構の年內實施立共に滿纖監督關係の根本的選率を俟つて必然能に滿纖盤此機

滅鎖内部機構改革の火蓋を切った

を表示の得た改革案は經濟を記憶されて一 で、企業の一質能新機關を以て一 で、企業の一質能新機關を以て一

新機關の構成

經濟國策の企畫と實行

地方部商工課の産業助成事務

ルさ様像つてそのパートナーを失。 薬を研究してるたが、本夏湾本理た、一方重特殊部と機様問題解決。 変機臓の合一化に載いての襲制吹き共に近く解消する筈であり、こ 変機臓の合一化に載いての襲制吹き共に近く解消する筈であり、こ 変機臓の合一化に載いての襲制吹きた。 かくて細調内部においては

機関さして且

ついては理察二艦隊高橋一機須賀鐵宗府市会長官旅野修身大会さるべき水年度海軍定一轄することさなつてゐるので、現九日養國通》來る十一月一三吉中縣が職合艦隊司会長官に蒙

棋も結局河田書記官長の意を答れるもので観られる

参議院に入り待機

調查、立案、企畫各機關

縱斷的統合案具體化

漏鐵の内部的機構改革

根は光づ今回の康備を確じてまることな要請し、若と今回の康備を確じてまる

軍縮全權に

行發日九十月十 界 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人輔編 盛武 村本 人剛印 地番一卌剛團公東市連大 社報日洲滿 社會式株所行委

内田洋行 大連·奉天·新京

日·英·米二 或

平和維持機構の根幹として必要視されてゐる
中和態則を確立することは新海軍條約の成立のためには勿論、萬一これが不成立の場合には特に世界中和態則を確立することは新海軍條約の成立のためには勿論、萬一これが不成立の場合には特別の新鵬の方針を決定してゐるが、慶田外根は他賦日英米三國間における相互不戰の原則を確立し世界平和の新鵬の方針を決定してゐるが、慶田外根は他賦日英米三國間における相互不戰の原則を確立し世界平和の新鵬の方針を決定してゐるが、慶田外根は他賦日英米三國間における相互不戰の原則を確立し世界平和の新鵬の方針を決定してゐるが、慶田外根は他賦日英米三國間における相互不戰の原則を確立して說談されることを拒否する歌手で

日英の豫備會商

報告の後、驚さしては交武の區別 ・大八日午後一時半本部で臨時總務 ・大八日午後一時半本部で臨時總務 ・大八日午後一時半本部で臨時總務 ・大八日午後一時半本部で臨時總務

各署長部下

を慰留

顕靜を待

つて夫々辭職

たる所、その結果現の政府は更に閣議を再

日英海軍操備會談は來る二十三日「行はれるに決定した、鼈日の會談」ものこ見られる『ロンドン十八日登國通』第一回「英國外務省或は首相官邸において」はマクドナルドで 英米豫備會商開始

圓卓會議を提議

日養國通』米國代 襲手を誘致し重大な不幸を避け離 際は戦事変事官に確される事さな 【東京十八日國通』 (東京十八日國通) (東京十八日國一) (東京十四)) (東京十四)) (東京十四)) (東京十四)) (東京十四)) (東京十四)) (東京十四)) (東京十四)) (東京日) (東京十四)) (東京日) (東京日) (東京日) (東京日) (東京日) (東京日) (東京田) (東京日) (東京

願る好評な博したものであった 機さなり家教室部の一般軍総会職会 と、水野大勝に昭和六年軍令部次 長より國際職盟の一般軍総会職会 をなり家教室部の人権は内外に が野大勝に昭和六年軍令部次

政友會幹部會

翰長辭意表明

肺炎で入院加療中

【春天電話』大連特務機關長に新 住の土肥原少りは十九日のはこで

職下二十八署の署長会議に来る二 に終警を来さくる時期 に就き協議する筈であるが各署 る電低脆告めるとも書 長は政府の警察官鎮撫工作並に關 並場から上下の賞を養 長は政府の警察官鎮撫工作並に關 並場から上下の賞を養 東長筒の甌示に基き、肚下極力部 すべきであるとも書 下署員の慰留に努めつつあり、從 り、来る会議に於ては 下署員の慰留に努めつつあり、從 り、来る会議に於ては 下書館の慰留に努めつつあり、從 り、来る会議に於ては 下書館の慰留に努めつつあり、從 り、来る会議に於ては 下書館の慰留に努めつつあり、從 り、来る会議に於ては 下書館の思智に対しているものまま 巡查代表者大會 けふ大連署で

三、辭職後の諸動作 三筋會總 前十時半より沙河口三筋會大連四署委員

青金融至にお

の方針に基き警部、警部補実に一会した

辭職

『東京十九日黄國通』 献炎で入 院加媛中の河田書郎 節長て臨時 院加媛中の河田書郎 節長て臨時 所の下、楽称多端の が歌作に楽歌を及ぼすな慮り十

誠に移ることと

遞信課長會議

長集合の上遷信局脈の態度を洗すたが、局長離低を待つた上で各課 を表すると、

祭める筈、局長は極力頻振に

旅順兩署長

蛇角

河本經調委員長談

官の訓練を際へて励撫する筈である、なほ説順形務所覧は所提以下

時、延素館に黙しては二十日午前八殿警察署においては二十日午前八屋館の整備に謝むな際へ、一方彪とのでは二十日午前八屋での登場においては二十日午前八屋では、東に十九日正午より署覧 で質けれる。そう

世間の同情者よ、復興 そして同胞の協力によっ 理解の眼を以て

企畫機關が必要 貫せる强力な

満被な論議が開けされ! するわけで、本家を終つ

署員を慰

室する 室する で、一層公務に盡されんこさな希 で、一層公務に盡されんこさな希 で、一層公務に盡されんこさな希 で、この上は官吏さらての本分を守つ で、一層公務に盡されんこさな希 で、この上は官吏さらての本分を守つ で、この上は官吏さらての本分を守つ で、この上は官吏さらての本分を守つ で、この上は官吏さらての本分を守つ で、この上は官吏さらての本分を守つ で、この上は官吏さらての本分を守つ

颱風の跡の惨事は、犠牲者の復

思はない、また濃れ

本理事はこれを正職機嫌妨め各重の不理事の手能に提出した、河が 役に對しその内意を傳へたがこれ

署員慰撫

開催された各部局長金銭用金後、安永能順民政署長以十八日本廳に安永能順民政署長以十八日本廳に 刑務所も善處

喧嘩なら我慢も出來やう。 も、 動風一遇の感がある。 0 0 も、蹴られても、兄弟

しもの機構騒動 ない、無くなるやうに見えた。華名、横が肩をすくめるさ、まるで肩 包まれては、あるか無いか解らなれのしたやうな、鼠つぼい脊膜に いのである。

するのを感じ

響しますにぬたら、ごんな生活が わっだけど、わたし塗が、明日を わっだけど、わたし塗が、明日を あるのでせる 一対なしの酷しこうしか、そんなことを思つて

近江セールズ株式會社

の自重な党み兼に議決定後菱刈開 東長 各機關協力 目の訓示 の遂行に参畫せよ たと、富分の中期の如き組織を採 を真に已むここを得ざる一時の を真に已むここを得ざる一時の を真に已むここを得ざる一時の を真に已むここを得ざる一時の を真に已むここを得ざる一時の を真にとなります。

致

速した州民大會代表態勝地大郎氏遼東ホテルで委員會合、十七日歸

まうで思ってるたさころよし

作しませうか?わたしもお茶を飲 顔を確すここだられ、フロイラインへでも、お のよっ水自然

州民大会では十九日午前十時から機構問題によつて結成された関東

委員會

關東州民大會

うな、一文なしの無人たちを、接続なはつて、自分を待つてるたや さつきは、邪魔な人たちに命つ

さつきは、

・戯の触りのある紅草

銀座の人々へのご

び中央における情况に飲き詳細

七時二十分大連港外着の豫定はんこん丸二十日日 九日午前九時四十分着列車にて剛崎虎雄氏(國際運輸常務)十

二人のさう

友達のさつきさんは、直ぐ「さうら、御覧なさい。わ て、戀人の佐野積な、顧みて

田添程次氏(住友販賣店出張所習)同上逐東ホテル投宿の上逐東ホテル投宿の上途東北テル投宿の大阪では、新京線區司令 佐美寬爾氏(滿鐵理事)同·

お化粧工

經

かっ

を選択しての は関い を選択しての はりの如何な はりの如何な

では今後の反對運動を停止すること でも今後の反對運動を停止す がでも今後の反對運動を停止す なる。こと ▲菊田直次氏(滿磯天連鐵道事務 ルビン鐵路局

如き閣議の原案强行決定は従來、文武權限の別を無視したるが

全員の總辭職は止むを得ざ之に反對し來つた立場上三

応雄氏(高等法院長)同 天氏 (三菱商事ハルビン 氏(啓東煙草會社支配

前十一時半散會した

大連署監督者

等の二家な慎重協議の結果採決午

内第一鵬総全で監督者會議を開きて監督者會議を開きて監督者の議会を開き

進退問題に就き協議し

公東亞考古縣會幹事)

構官制豫算

大蔵、法制局間に折衝

即氏へ大連新開論説部長) 以下一行六名 同上難連 は下一行六名 同上難連

ラインの歴の中へ這入って行つきな確子戸で飾られてゐるフロイ

マ週報に変れさへすりや よ。僕の映畵磁光の原稿が、キネ「何アに、二三日の辛抱なんです 出して、 、美味さうに喫ひ始め、カクシから、くしや カクシから、く

價 一九四二 一九四二 十五 十五五 夫 夫 夫 夫 夫



瓦斯へ入れるニッケルも無いんだっちしてくれた方が嬉しいわ。もう 合してくれた方が嬉しいわ。もうるのなら、それよか、いくらか都「澤山御馳走してくれる餘裕があ 息子は、コンバクトを受け取のバッグを開いた。 さつきは、銀貨を三四株、友達 水白粉が、家にあるだけで さつきから、 した會話を開

外傷に 血色の美しさが お肌に合ふ時です 一番ピッタリと メンソレータムが 目立ちます 化粧に

秋冷の頃は

世界の家庭藥

な青語

(17)

上於荑

吉

Ξ

郎畵

店支配人の静明によつて公

知合いの存款酸素胆洋行代理的一、体が、名刺な場所であるにかが、名刺な場所である

水上署から抗議

激昂する芝罘領事館

休暇を

けふ絶好の御巡狩日和に

路奉天へ向け

た何な出るに

神し上げてぬる中に瞬前廣場北 ち申し上げてぬる中に瞬前廣場北 ち申し上げてぬる中に瞬前廣場北 側には滅洲國際任官並

三百五十名南側に日本側奏任官並三百五十名南側に日本側奏任官並

自動車

奉天驛に御着

直ちに東陵御参拜

驛頭・沿道の熱誠な奉迎

た、かくて午後二時二十分御召別 に職く大権天職に建着した、こ に職く大権天市は一般空高く見事 に職く大権天市は一般空高く見事 な旅州晴れー峻秋の駆も和やかに 御郷筋は壓一つ止めぬまでに掛き 事 天郷道事券所長の御徳縣で伸巡狩事 天郷道事券所長の御徳縣で伸巡狩 山井事 一番上郷、山井事 一番一本北

魔を以って膨へられ

地大西邊門を通り

一人な唱へ赤波あふりか

たなら続いて日

上げ田村書山、張守從 家族 奥地 慰安會

遊ばされた

儒國道に出でられ

一割六分二厘の収容力あるに過ぎ

舞踊、寸製祭 人と離れて続しく生活 を管後相談會を開き留めのアログラムで慰め 遺されてゐる者

鼠で家族を大連に発 福時計 眼鏡

船長過失なし

益進丸海事審判

舶用時計 五二番地

進地艦泉高校長平氏にかかる海事・ウエー艦ロエナー號で衝突せる総会を持ちてノル

ためるが、若し野校が設の質地が の増加な計つて質ひ度いさいふ希 には情中溝蜒理事、村田本社々長 ちれ戦里の蘇州に開選した、岸壁 られ戦里の蘇州に開選した、岸壁 を で 脱症されたが、 概長に過失なし で 脱ばされたが、 概長に過失なし

故關鐸氏遺骸

けふ海路離滿す

れな地草中であるさ

成し髪が腫束長官に提出することと

特に商業學堂を

男子中等學校へ

の要望

若紳士 實は無錢飲食

二名、女百六名、合

受検の入撃試験に依つ

有は男子二百二十

業生中本年度中等學校入學志等者

始めた、身なりもいやしからず匿地のののである。 ーケン・カフエーに年齢二十八、 下八日午後六時頃岩代町八番地ビ カフェーの災難

御引菓子

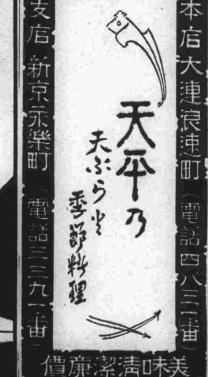
橋會生花大會 ● 生花池の ・一般同好者の ・一般同好者の ・一般同好者の

透明紙 セロフアン 大連市西公園町一六七回車輪次第カタログ郵送 和品用透明紙袋 植上商店 於附屬品

均|売場 THE SECOND

御婚禮用

支信 新京示楽町 天平っ



生物のホームスパン地。是非一度御添覧下さいませまであるので、野趣と鑑賞と配位と快き燃験を以て勝义の店に各種様びましたトランドの田園で牧歌の口するみと共に農婦の手に依つて紡き乍ら織らるとものことをより入 パンであれ、生粋のホームスパンは役離さもので御座います。スコ名こそホームスパンであれ、生粋のホームスパンは役離さもので御座います。スコ

****** *防寒 •純毛シヤツと靴下特價提供 柄婦人コ

熱河寫眞展覽會 八十九點 二十一日

學生駆性は御行外に

| 大き

從者を從へ、千代

熟河地方寫眞 圖書館·滿洲日報社 田三十五銭の支掘さなるや一銭線 賞十一株入りのガマ口を逆さにし 「おいち銭を持たれえよ」さいひ 出し、始めて歌楽能テヂオ(無銭

になり、大連製につき出された、留置場の冷たい空氣で一般冷 ましてから時調べて見るこ本鑑高 地化所心定心添清喜へととわかつ たがまだこの外に餘罪のる見込み でクまあもう少し解ひなさません

毛

吳服 ◆二十日ヨリ 誓文

****************** 拂 賣 …於三階

ト陳 列

אבאראביי ביבאראביין באוראוכאירכאיים ביורסובים ביורסובים ביורסובה ל

生粹のホームスパン地

いっていていて

コピアル

、王軍政部次長以下簡任官日滿兩國官民多數の泰選を受ける「離任官同特遇者以上及び時間有力」接生徒及各國體に長高顧問、長足民政部警務新東縣。數重後途中遊過合職にて「終車泰選のためホームに塔州せる「校生徒及各國體に関係。張軍政部、丁交通部 【妻天電話】滿洲國皇帝院下には「女られ途中四平御、線線附鄰に神」者、並にホーム外販部、張軍政部、丁交通部

威海衛公安局員が 領事館の嚴重な抗議で へを不法監禁

許さず 剛名は同日午後 非道い目に ないつたが、扇型は之な さいつたが、扇型は之な でいったが、扇型は之な でいったが、扇型は之な であるけの身際、贮臓の有機が観告した

辛うじて助かる

遭ひました。 佐藤氏の談

> 【東京十八日蟄國通】ユーゴ ースラヴィア國々葬につき出

子供さん母さん

大にこ

けふ大連の

菓子祭

景田つき

樂真に型のやうに式

ユ國に弔意

つき一千六百二十五名、今間六十 一一三百一名であり、今後は経々増加 大三百一名であり、今後は経々増加 大三百一名であり、今後は経々増加 大

現在

言はれるまりにお銚子を進んだの

観も子供達の鍵もにこう~~~

アラハタ

大連市大山逆三八

電五

〇九番

洋行菓舗

ママレード

大連ではこのお祭はこれが最初で

暖かさうなので同カフ

州内百十四校について四

三日間半旗 日本全海軍

版権所にて支那官憲に不法監策された大連受護事務所消滅社員佐藤 及責(*)以は勝る 祭日ル利用とて特別休暇を費び 最責(*)以は勝る

明からたが、これを知った禁順洋行代理店の報告により芝罘日本領別を出るという。
日午後二時威権衛出港の第十八共の日午前五時五十分際放され同日午後二時威権衛出港の第十八共の日本領別を出るという。 に水上署に出頭恐ろしかつた前後

先づ關東長官 事に決定その旨通審を載した。 おより三日間半齢の職な行ふ 意を表する為め発揮軍に十八

繁願書を提出

東子の雁嶋田道間守之神の戦前でれた、非職者に大連菓子の標準をなりお知合長石川治郎氏が禁治さなりお知合長石川治郎氏が禁治さなりお知合長石川治郎氏が禁治さなりお

は進められた

式が終ってから忠順塔前の事務所

優れたる

料理至實

爽やかな

四季通

ナセ 当六

綺麗

州内の滿人教育機關擴充運動

~實行へ

種々

は各お菓子屋から寄附され

のお菓子をいた

ポリ・

明 東海林太郎

教育な施したいさの希望が増加して来た、然るに現在州内に於ける中等機校程度の満人教育機勝に志いるの希望が増加し

により命からく、時連した事情が 取調べの必要があるから文句をに不法監索を几頓事館の融棄抗論 ころへ再代公安院は二名が来り 取調べの必要があるから文句を取り、一名が東海崎支那側の公安局 近の激発値に能をより入浴したと

・ 市内山手町五第三埠頭り命から () 鯖連した東

を同行を強ふるので已むた似で公 安局に赴き局長に順食したところ

た持擧せざる日本人も収締るこ 國民政府は十月一日より證明詩

脚名は

を取締ることになり證明書無き か取締ることになり證明書無き か取締ることになり證明書無き か取締ることになり證明書無き か取締ることになり證明書無き か取締ることになり證明書無き か取締ることになり證明書無き か取締ることになり證明書無き か取締ることになり證明書無き か取締るだ、水上署では関東顧 によれば によれば によれば によれば によれば によれば によれば によれば にないから不ば監続であると滅 にないから不ば監続であると滅 にないから不ば監続であると滅 にあるが、水上署では関東顧

南西の風晴一時雲南西の風晴一時雲

天気予報

南には やつばり

かま

香花

三圓五〇均一

四圓玉〇均一

◆秩 父 男向鉻仙 ◆秩 父 模樣銘仙

◇村山大島耕新柄 五圓五〇均一 十月廿二日より 品質本位で



キングホース 同時上映 記

の學童一名限

電磁器は概じて低級品 ・ では他に化粧品

入配の仕入時期は十

一月、五

見本市ど同行して見た

『も庇飾の新』きであるなほ輸出大手館さしてはそれだけ附」のこして今後の動向は注目さるべ

七分であ

熱河諸都市

承徳と河北との關係

下

特

派員記

たのである。唯しこの繁素者の歳れまけ消費者際級が増加したさ見れまけ消費者際級が増加したさ見るここが出来る。即ち一月末の繁春から見た消費者院級に七戸五分のものが今回は八戸二分さなった。

下衛一か見ないのである。 下衛一か見ないのである

變2位%

保證金を引下げ

大豆上場も貫徹を期する

報 それが爲に從來の酷屈が一時閉鎖心壁で替へられついあるからで、

台飼料

の輸

十四萬瓲で昨年の倍

二一 - 三五 - 四五 - 一三五 五 六 七三四 五 六 七三四 八 七 三二 六 〇 二 六 七 三四 八 八 五 一 七 七 七 九 八 五 一 土 土 九 五 九 四 一 〇 三 九 五 九 四 一 〇 三 九 三

二、三、二、四五、二、八九五、二、八九四七一九九四七十九九四七十九六四七十九六四七十九六四十十九四 ○神戸屋株式店 公债,株式.現物. 简屋

二、 五 二、 九 四、 九 一 六 二 二 四 八 九 一 二 四 八 九 一 二 四 八 九 一 して満洲國側より説明を聴いた後 助り原業金を左のごさく話正した 即り原案の特重、商品、銭鈔各 一部に付て五千元二部一萬元三 部一萬五千元は取引所員さして 部一萬五千元は取引所員さして 著痛を感するにつき一部を三千 元さし二部共通四千元、三部共

る等相當の方策

によるので遠

本 は に 多少の雑穀を附加へる事が出来 に 多少の雑穀を附加へる事が出来 は に 多少の雑穀を附加へる事が出来 は に 多少の雑穀を附加へる事が出来 は かい しょう は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は 一 で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ で は こ

沿線各地の御用命は

最寄店所へ…

遊

の商況

四六一順に達え茶業七三、九九 三個、砂糖一九、七六二個であるが、油脂、油脂製品、芝麻油 等の植物性油が四六、三二五個 等の植物性油が四六、三二五個 に上り石油は亞細亞石油及スタ に上り石油は亞細亞石油及スタ に上り石油は亞細亞石油及スタ に上り石油は亞細亞石油及スタ に、五三三個で主要輸入品に屬 し、紙類は八六、八〇七個を輸入。 入してゐる。 月本最高さし、二月は最も振ばな 十月が頭上で食料配は十一月十二 十月が頭上で食料配は十一月十二 月一月及四五、六月が最高、紙煎 は十一月、十二月、葦丈薦は一月十二 之等主要品の輸入徑路を明らか にするさ、綿布類に就いては前 が環上さなつてゐる。 之等主要品の輸入徑路を明らか にするさ、綿布類に就いては前 が変出してあるが、最近はその系統 が変出しるるが、最近はその系統 が変出しるる。尤も石 するのであるが、最近はその系統 はの選出し看過ずる事が出來な が聴出さなった。 ものであるが、最近はその系統 はの選出し看過ずる事が出來な である。たも石 でを禁じな天に變った事に主因

はいる。北平からは比較に高級 のである。北平からは比較に高級 のである。北平からは比較に高級 のである。北平からは比較に高級 のである。北平からは比較に高級 がある。北平からは比較に高級 がある。 貨等は既述林南倉仕出のものが多次に牽丈閣の大部分、陶磁器、雑 であった年間に六一九、二二九<u>国</u>である一ヶ年間に六一九、二二九<u>国</u>である一ヶ年間に六一九、二二九<u>国</u> 未製毛皮、未製皮を 大一、二九八側に塞 大一、二九八側に塞 大一、二九八側に塞 大一、二九八側に塞 大一、二九八側に塞 大一、二九八側に塞 大一、二九八側に塞 大一、二九八側に塞 大一、二九八側に塞 大一、二九八側に塞

0

一般に

から織布、選化から総布、食料品から総布、選化から総布、食料品がある。その他平谷

カ 河頭から総帯、洋髪を各々輸入し 完全にその輸入貿易が北支総部と 第一次をは、ボー酸工具、

を充分に脱却して居らず、例年 製字の現れた期間は未だ戦後の繁 が変の現れた期間は未だ戦後の繁 が変の現れた期間は未だ戦後の繁

况(十九日)

全家の經營にから登車經營會社で、

五 口 計(17) 本代 18/2 日産二國 大・護高、新東二國六七十錢安、輸新二十錢安、衛市五品は五十錢安、輸新二十錢高、引は保合、東京短期の新東、日産は一國六七十錢安、輸新二十錢高、引は保合、東京短期の新東、日産は一國六七十錢安、輸新二十錢高、新東二國六十錢安、輸新二十錢高、新東二國六十錢安、輸新二十錢高、新東二國六十錢高、新東二國六十錢。

梶田小兒科醫院

大連市越後町(若狹町角)電六七五〇

不炭の御用命は

奉天票 現物

乏

金票(現物 二二、河

老第大 品質精選·量目正確·配達迅速 福福永洋 大連市山縣通り 雪話 (五四二

總 清釜木群仁 計

計 津山浦山川

木米 小木 金越祭

三角地

雲母

育 芝龍 工工 大津 人 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地 地

三回神戸日本

大阪期米 三金

智であるさ

(四)

業者業態調

舊式より新式への

東廳調查課發表

關東州

及び附屬地の

六、二四二

満洲國織物關稅の 低減案を協議 九四六七 四 東京商議の定時總會で

財政を表した。 一月の定時概念に各職性低減変を 程低減能避につき協議した結果十 一月の定時概念に各職性低減変を が表す会を解き満洲肉糖物を入職。 の定時概念に各職性低減変を がは減なが低減変を 招商局が米國か は 動い つてある流洲歯質業部大臣張艦順 のである流洲歯質業部大臣張艦順 のである流洲歯質業部大臣張艦順 あるさ

全国党業廳技師の 本英天の水日正一氏

滿洲電業公司

支那海運界の新傾向 振な開始すべく# 「展別ひを得つて を開始すべく# 前途は内地斯界 かけられてゐる

二月

+

九

・ 重乗を期する場のものであるさの 見解は前にも述べた通りである。 全試みに減少の芸なるものについ で見るを嫌虚販管要、製造業、土 が記者の関係に対してある。 を対する場合のである。 を対する場合のであるさの を対する場合のであるさの を対する場合のであるさの を対する場合のであるさの を対する場合のであるさの を対する場合のであるさの を対する場合のであるさの を対する場合のであるさの を対する場合である。

京のあまい。 大月末 一月末 一月末

十五隻買收する

れよりさき第二回登起人会は十九 郷金に十一月一日開催されるがこ 郷金に十一月一日開催されるがこ

ホテルに開催

的のものとは、

一円盛を極めて居るのである

日十

業の目を記しき活況と同國際来にお できないと、 を 変形に土養暖地位を占めてゐる揺 でである、これに、中國海 でである、これに、 でである、これに、 でである、これに、 でである、これに、 では、 でである。これに を でである。 ででな。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 ででる。 ででる。 ででな。 ででな。 ででな。 ででる。 ででな。 營口取引所の

午後三時暗終了の豫定である 出歌し起歌の歌議投資評價々格被 出職し起歌の歌議投資評價々格被

大豆 三七三六車 四九 京和 七三三千枚 八一千七 豆粕生產高 (二十日) 一五、〇〇枚 十五百至 十五百至

株式出來高(十八日)

期

印度、今度は

鈔票反撥 上海標金安で

麻袋見直

綿糸保合

を引上げん

毛織物關稅

大連港 苦力

才未 福奉公司 一本公司

三外務常院は成行な注目してゐる

から取上げ 英國寝室室

答付 高值 安值 大心 足期取引(單位後)

別近 川遠10 11号の 出來高期近八 中 時 川遠10 十 時 川遠20 十 時 川遠20 十 時 川遠20

四等船客制限で

日本船側不利に陥り 制限緩和の要望

上海(局共) | 上海(局共) | 上海(局共) | 上海(局共) | 上海(局共) | 上海(日東) | 角巻、標金の反落は政府及び銀行當局が急激の變落は政府及び銀行當局が急激の變落にて落付かせたいこの意同なもらせる為であること 海標金

連鎖街の問屋大島屋 白米下落相場 電二二一〇〇番

機動發油輕機動發油石 機 産 國 良 代理店 道 田 田 城 瀬 山 城 瀬 り 豐



農林省商工省認定

電長五のセニ・バ五三四

賣りは警戒すべきである。 では無理もない▲併し足取りかければ無理もない▲併し足取りから すれば無理もない▲併し足取りから ない、本付し足取りからなく将來我國の政治經濟上のファ ないる情報を表現の政治經濟上のファ •

今射越屋商后

河田翰長の

解職を認む

日

約六億圓見當

合地災害で増収僅少

出處進退總て

を 変か でも 職分は 全うせればならっ でも 職分は 全うせればならっ でも 職れる日・

坪上次官は結局

單獨辭任か

全省の責任者として

問司氏

さいかの壁りも

推審一十三則國公東市澳大 配: 報 日 洲 滿 黃禾 所行費 〇六連大卷振・號五三一副書寫 五ノ大西座銀區播京 道 新 田 梅 區 北 地番五目丁一町遊遊 地 奋 七 町 盲 佳

通告は來月中旬か

を味ひながら血みごろの戦の中間にあつて人知れぬ苦

署長のこの心臓に基く訓示で

つた版において坪上大官に責任をのであり、度々の禁明戦を展し得なが、度々の禁明戦を展

豫備交渉劈頭に於て宣言 直ちに閣議を開催

期は十一月十五日前後で観測される | 「東京特電十九日發」 我山本代表に軍縮豫院御路殿の手織を執るとさなる、ワシントン欧府に向つて廢棄通告する時は最悪に織くない、佐つて帝國は職員の立場に懸き山本代表の條約 廢棄の宣言後速やかに 政府に於ては再び閣議は残論、無懈もワシントン総紋は多少修正するな必要さするも 腹脈解には同僚紋の壁楽には不識成を聴くて 我が勸告を 拒絶するは残論、無懈もワシントン総紋は多少修正するな必要さするも 腹脈解には同僚紋の壁楽には不識成を聴くて 我が勸告を 拒絶する、東京特電十九日發』 我山本代表に軍縮豫備交渉劈頭に おいて華府條約共同廢棄の勸告をなすが築米

米國の主張する

相對的割當

歩の意を有するこのめかしてゐる | 護歩するこいふ事は信じ難い、的安全保臓なを観念の下に多少觀 | 一、また提案も出さのアメリカが慰蒙は比率なる言葉を避けて相對 | 意味は大変左の如くでゐる | 東京十九日養國通』米國の草織が、これに闖してわが海軍部内の わが海軍當局の見解 きらのご見込む

帝國の現狀に鑑み抗争を中止、

での観測が有力である、しかし結 所において現地情勢の鎮弾からま が上次官は全省の責任者さして報

の場合生験管理局長、更に北島施商長も管然部意表明に至るもの

下浦洲國の目覚ましい難

大阪に着く

終へた英國産業視察壓一行は十 大阪十九日發國通』満洲國視察

警察官慰恩の猛運動を開始

市區長聯合會

で切望

夏の頻繁は概驚長期の療養を必要・概なほじめ球所首臘部において愛、東京十九日養國通》河田書誌館・こする事明瞭さなつたので剛田首

後任、廿三日閣議で

情勢安定すれば

特務機關廢止

事變當時の關係に還りたい

土肥原機關長着任

本問題な、こであるから、もも顕東顧側がこっつ野状な知、順義においても旅行に確定したことをあまても、かし既にその法理的議論は憑され、問に関する。かし既にその法理的議論は憑され、問を取り、しているという。

であない眠めるも突然は脳部に低いてあない眠めるも突然は脳部に低い

外相、閣議で報告

我内政問題への臆測

せ、同時に五子の鬱察官を 以て醫師の診臓者を添へ齢表を重した。 表大會では機構問題に騙す あるが判に以下空駿町の鈴・敷との乗出を表大會では機構問題に騙す あるが判に以下空駿町の幹意敷く表大會では機構問題に騙す あるが判に以下空駿町の幹意敷く 関東職では菱刈長官の訓令に基

關東廳職員

辭表再提出

はちれんこ一代表し日夜帝都に於て奮闘しつ

上りの兵隊がこれほごよ

迷惑なかける事こなる故郷戦な離り と此の非常時局に重責に在る書記 で見こして病味に在る事に政府に 官見こして病味に在る事に政府に 聽許を待ち總退職 職職で決定養表される事とならう 地震で発動が順調にゆけば世三日の機能で発動が順調にゆけば世三日の 遊してゐる事とここ。 たので首相さしても臨時議會は切 たので首相さしても臨時議會は切 を有し岡田首相にもこの意を傷へれて悠つくり解養したいこの意向。 各閣 でうさしない、床に かいぶつてぬる 除機に 僚の顔も秋晴れ り「御國なり事ふここは 閣議で即詠一首

第一同な動無するこころがあつた ・ 日間東臘にその旨な電話と関東艦 にその旨な電話と関東艦

職三局長以下各職員の慰撫電話口に呼び出し無線電話

慰撫依賴

仙波代議士郷里へ

消防手代表大會で決定

閣議決定事項

学明書 ・ 大阪国内に直る ・ 大阪国内に直る ・ 大阪国内に至れり ・ 大阪国内に至れり

奉天憲兵隊長

▲赤塚吉次郎氏(新京商業學校 代理)十九日午後四時二十分

於昭和九年秋期(第五回 全朝鲜清酒品評會





國防8次表。資強化。提唱+

【ハルビシ十九日登画通】ソ號の「八月中統計による外國 質 勝高は

對日減少し對米増加

ソ聯の貿易狀況

國防國策の强化(陸軍バンス)

る。併しながら時日の細

なる所である。 董し之れにより で東洋平和の礎石を造り、世界

五全體會出席

不能を通告

胡漢民氏の態度强硬

夫れ満洲國の成るは區々の人

關稅問題の解決

早急には困難

澤田新任駐伯大使ごゝもに

川島会使 來京して語る

北條庶務部長の

◆問題の機構或英は窓に脱影滅行 さ確定した。耐して鵬東鵬鉱の を確定した。耐して鵬東鵬鉱の を選ばに就き新規の際へる處は形 製面自からす機静職の外はない

私は答て讀んだ事のある談談

政治何う考へたか

やる」で挑みかり

石の大名なら 政宗の権闘が

○定期(單位七錢)

二局長ご政宗

をついたが件の脚本を持つない。

市況後場(十九日)

秕

說

んで可きかを構切に感得あらせに受けられたる天命の如何に重

島市陸下が順内巡野さいふ事質 島市陸下が順内巡野さいふ事質

民ばその協力によりて王道樂土

ばならの事を痛然するなき

満鐵社員會の緊急役員會

二(昨年度より三、三八〇塔加)輪「五九、三三八、輪出四四、二八甲五九、三三八、輪出四四、二八

四三四増加)尚本年一月より本年

下に於て伊達既完さ増れ違ひ、◆政時その版本の一人が殿中の席

ないにはからればのされた。

この際面目問題に

つたが本年八ヶ月の貿易は三

ずて總督後歌

有情印を終り來る二十一時事項を逐一可決し

るさ共に将来の保障を要求されます。 東京の電規問題に関し、原電抗議

大豆續落

一番

横井建築事務所

工學士 萃 野 義 男工學士 卷 話 三 五 五 九 番 元 五 五 九 番

外科

七町の吉市連七六二三話電

使に對する妨害事件に関する

り来る二十

隣洲國は創立以來駸々平たる 在滿行政機械問題に關する祭明書編也に簽稿した滿郷社員會内勒に就いて書後策を終する と 出席の下に開催された

八四五二、輸入

鐵道部事業費

主要項目

モスクリ政府は右事質の現地趣にされた所であつたが、之に野

金人リット はいか 総出七、二四五、 総入九、四一六 総入九、四一六 金人リットにも 二十八百萬圓に跳し重役集第會議なる項目は既報の力とであるが、右の内主

シド 輸出!!、!!!!!

右の他日本さの智慧に昨年度八ケー 用五、四五一千留中輸出四、一六 新築込鉄も 東郭名及び

京本認されず後年度繰越 視された安

駐露大使に對し歸朝命令を發す

奉天商工銀行

開業豫定繰上げ

し居るので廣田外相は近く大田東京十九日養國通」重要問題山

近く歸朝命令

滿洲

はその組織變更により十一月一日密銀行の併合により奉天樹玉銀行

事業開始の豫定であったが

る際り出席不可能なる間を返催す しないものさ見られてある 正然性会談探謝の書館に数し胡微 るに一見顧る緩和されたる如くで五金性会談探謝の書館に数し胡微 るに一見顧る緩和されたる如くで あるが事態は登然安閣の絵地を存める 政部では従来税捐

水路技術委員會

観席のため延期中の所

問題で抗議 職決定、舊航行協定の欧訂方思 及び明年度豫算の編成等が協議す

發起人總會 滿洲電業公司

昨日第二回開催

回教起人總會は十九日午前十時新 省着電に依れば 日モスクワ

日本訪問

滿洲國四參議

海標金安を眺めて強

鈔票續騰

ででいた。ようではいいでは、全国兵力装に、之を度外親して空中画防を輸出の充分ならざることは充分了解するに、電車航空の場際に終るに得るは信する。(後指の主要列強いて、我が民間航空の場際に終るに得るは信する。(後指の主要列強いて、我が民間航空の場際に何をはある。此見地においる。既然においる。とれば、全国兵力装に、之を度外親して空中画防を輸出を表現して、とを度外親して空中画防を輸出を表現して、とを度外親して空中画防を輸出を表現している。 が ・ に比すべくもないのである。(附 ・ 参照) る經濟の防禦を 設の必要がある

邦約百三十萬約 三 子邦約百三十萬約 經軍飛行機

機の空=勢力は管に六千機を突破機を合能すれば、我を闡練する列

大連市公報を添ふ

芦杆糖

不倒子のシャツはキョイ 管機に正大百匁入粒擺率果を一龍鬼 管機に正大百匁入粒擺率果を一龍鬼 を開ける三川以上飼質上げの 十月二十日より 不倒子苹果デ



〇番



附十月十六日 引三十一日 デ に限らる 世界屈指の指の 先づ第一に









油谷榮商店

學生大募集二十名限 創立九周年記念特典あり 分校 泰天鹿华地三和新四四 本核 大連市大馬町廿六番地

公認

療生 一町使浪市連大

田邊商店



耳だれ 性の振りにくいきづ」に特ならしめた外用薬で、「慢

皮膚新生藥 おでき、たどれ 膿み傷、痔

生 条(單位十錢) 一角 三名 三元 三月 三名 三元 三月 三名 三元

の慢自店幣

單獨拜謁に浴する

奉天日滿官民

百計六十二

名に

上る

勝會の静について炭鹼プラスバン 脚艦された、定刻甌田支部幹事の しない。 に対域田支部幹事の にないで、 に対域田支部幹事の にないで、 に対域田支部幹事の にないで、 に対域田支部幹事の にないで、 に対域田支部幹事の

7午前十一時編隊せる敵機國境かくて正午に至るや

の中心地をなくして國際なり、 無順 財空なくして國際なり、 一世の地をなり、 一世の地でなり、 一世の地でなり、 一世の地でなり、 一世の地でなり、 一世の地でなり、 一世の地でなり、 一世の地でなり、 一世の地では、 一世のは、 一世のは、

期護に菱刈軍司令官(A 幹事の經過報告、宮澤は 京澤は

防毒面

民の御努力に敬

結團式

の下に感覚五千名の

200司会官、平田参謀、小様大」た、記頻久保職長に引率された各職職を帯では午前八時より三毛

灰都防空協會

一八日發會式

日



主員防毒面を持ち た撫順防空演習

確な調査を具盤と

することとな

やうに安東縣下

ないでも地様と

『圖們』かれて基金造成の為めに奔走中だつた圖門在艦軍人 なり、新市街、銀沙館南方に五百坪の敷地を下し、分會中心 の株式會社で之を經營すること、と十六日午前十一時半同地 にて起工地鍼祭を執行した、工資約二萬圓

本調査を行ひ

基金造成に劇場

圖們在郷軍人で經營

り敵機果敢の空襲

成さる

陰に乗じてまた~~來襲数度の強襲を敢行せる敵

る大瀬町に流石に猛敗を振始を命じ高射砲、機關銃隊

當る人員の選 困難さ解費も 的調査を進る

を を を を を を を を を で、 安東縣 にので、 安東縣

間島省公署官吏に

可及的鮮人を採用

に同四十分警戒警報さ共

てしまつた、時のため撃破され てしまつた。

無敵部隊 の防戦奏効 た越えて進入奉天に向へり奉振 上空に飛來するは早くも午後一 時以後と判斷せらる」 時以後と判斷せらる」

た防護園本部では一斉に

に亘る防空滅習も大成功裡に常管制解除のサイレンに二日

多大の修正が

に伴ふ新設十省の 瀬州國 電車に 横大の兆を流らやや在 演戦人の 震を健して居るが右に で変して居るが右に で変して居るが右に で変して で変した で変し で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で で 。 で で で で で で 。 で で で で 。 で で で で で で で で で で 。 で で で で 。 で で 。 で 。 で で 。 で 。 で 。 で 。 で で 。

に、日本各都市においても斯の 市民各位の熱誠に感謝するさ共 撫順防護圏の結成をみるに當り 四千米突を保つて開原を南下「午後零時三十分敵六機は高度 活躍を始め戦機刻々熟す

で報本部に達す 州烈なる戦闘流習は開始よりは一斉に火蓋を切つ のや俄然色めき (機能)以上)の脈結たる略和製制を向上を期して遺影脈へ結成を制して遺影脈へ結成を制度を対して遺影脈へ結成を

莊殿神に終了感覚は所定の各部署相處完備隊長の襲撃で萬巌な三咄 さの激劇・駆員結成の殺罪で萬巌な三咄

さ共に去る十

翠鋼 所 準備全人 の社員會

光榮の第一回評議 第一回代議員四十五名の 〜成る

吉林神社秋祭り

十七日最初の賑はひ

ある

電を集へて著後野郷 は管内中間曙在

森川

像完成す 前校長

日同校々庭にお

馬の調査講習

神社上棟式 鞍山警察の 署員大會

隊廳舍新築

國境警察

一唯るかわもで何

社會係が慰問

中間在勤社員

地人事 八日はさにて赴連将(参謀本部参謀次長) 武官)同上

吉林省公署當事者談 危い少年 第一 在鄉甲 乙混合 八百米一着 (住吉)騎手松本一分一七秒二 配寫金六圓三十錢(五圓券は五 倍)

大連数十九列車が奉天驛近く疾走 轢殺を免かる 第二 同上一着(桂冠)騎手者松 (東京) では、一分一二秒三、配當金二圓四十 (東京) では、一般 では、一般 では、一般 では、一般 では、一般 では、一般 では、一般 では、一般 では、一般 では、 一般 で

第七 (盛豐) 第五十錢 第五十錢 第六 甲收段馬在鄉甲乙馬混合八百米一 百米一著(惑星)騎手歌吉一分上 北秒三、觀常金一個四十錢 珍七 乙在鄉甲乙混合八百米一着 (盛豐)騎手歌古一分上 第七 在鄉甲乙 混合 一千米一着。(山陽)騎手松本一分三五秒二十段配當一圓三十錢。那一分三三秒三,配當金一圓九一十段 殿) 騎手松本一分三五秒二 一風三十錢

第五日目成績 古催災者

郵便局にて……

二百圓盗まる

工事界に悶着

報じてるたが請責者はその後一 で放置、この分では到底年内の 完成覺束なしさ見た施主は最近 事請資を變更せんさしたるに寮 態氏は数百個の損害賠償を要求 して謎らす途に警察の損害賠償を要求 して謎らす途に警察の最も類す になって施主から散命額が こと、なつて施主から散命額が に対してからないであるがこの種の は出されたのであるがこの種の は出されたのであるがこの種の はおか別の近づくにつれ金

五女が寄附富士小學校

十九銭を持参し関西風水宝泉十七人は十八日鞍山署に金 年生女兒二 士小學校五 富

大徳宇等の一属裕部公司附

である は本夏八月同町三八番地に總工 は本夏八月同町三八番地に總工 するこさ、6北三條町六賽藤六 するこさ、6北三條町六賽藤六 大衛氏さ工事請資の契約をなら 内金七百圓を手渡らて工事を依

膽楡縣で撃破

龍沙攀工事に係る総等もその一例 をする向多々あるが、十八日鞍山 とする向多々あるが、十八日鞍山

人口

太明堂三大受験 **獨學受験 意**院明

合法

匪

百

のが例で、當地でも本夏の土建工

鮮人米を騙る

營口市

0

試冧 験用 問 題集と受験法

4

けての

さんな薬がよいでせうか、未經験を動を関しているような子母にしている。こんな子母にしてようかり、情になっているといでせらかり、情になっているというない。こんな子母にしてメリカのなった。こんな子母にしてメリ

費用は大してかかりませ

7

٠5٪

で、全席に於けるあらゆる事業会を得んさする氏である。本書はこの目的本得んさするは投資家の適切に既全事業界を展望と以て将来の指針を

物

舞和婦人: 中村大三部一 來 深一

海田石冬 園と

景景· 小矢小松 野澤杉林

竹弦放桂

武者・前ろの歌歌に・安田

を物を異へたちよいでせうか?情 を物を異へたちよいでせうか?情

たい、同な物、はうれん草の裏のでは、原物響のつぶしたもの、 で腐や鉄なごな入れた味噌汁、 おちや、果物の汁、卵じ株像、 は、原物響のつぶしたもの、 がるやき、ピスケット、 は、原物響のつぶしたもの、 は、原物響のつぶしたもの、 は、原物響のつぶしたもの、 は、原物響のでは、は、自身の は、原物響のでは、自身の

野菜で南照(駅馬煎肉)

で保てる人は全く無いのです。 を保てる人は全く無いのです。 は往く高齢な保つ人があり、これ

して殴べ年なさるほご野菜な

ないさ運動不足で要賞が過ぎ網線ないと運動不足で要賞が過ぎ網線を

總滿寶洲

東京牛込喜久井町

六六〇〇二

雜誌 **邦**書 每無代添附

色紙三百枚抽籤贈呈

角野楽類の中には肉

嚙み日光浴を充分にして 血液の作用を旺盛に

活動が旺んになり、蛋白質や脂肪、浸料

多く要求します

でさへあれば根常肉

大田 では、 大田 であり、 大田

くする機能素や酵素、石灰分、カ 質の中にさぼしいヴィタミンB、 類の中にさぼしいヴィタミンB、

高は外務省にあって支那におけ 開題の考察 岸田英治著

衞

まうです。 製みハツラツ さんた健

胃腸が弱くて食べ

すぎるとすぐ下痢する兒

お菓子など、可度な過ごすご直ぐ のは、 生後一年中になる男の の母)

の御飯を興へてなりますが、その下痢なします。一月程前から普通

根本的に體質 の改善が必要 一年半になるならば膨動 一年半になるならば膨動 でんぶ、自身の 意子の黄身、縄でんぶ、自身の

せるか或は先日來客の際ピスケッ

ごうかすると田舎臭い感じになり さい。恐らくはあまりに懲式な、 一新★女★性★粧

お納戸色の着物に對し

日

今

秋から非常な勢ひで流一方が平凡な日つぼいお化粧にこの

お納戸色を含したさしてごらんな

家庭顧問

相應しい貴女のメーキヤツブ

変ツ立てるなご首語道献 こ 申するのや、 無を限の間にはさんでるのや、 無を限の間にはさんで

ご婦人が高々さ足を組んで上

膜をひらいて置いた足の間隔

べきでせう。これは緊張を撮る

力强く

ŧ

をかい、学塾の方は二本の足が眼れるべく解注を接近して多少内なるべく解注を接近して多少内なるべく解注を接近して多少内なるが、学塾の方は二本の足が眼れば、

ますが、一般に不注意なのがことをいって、それでない。

みなさん!この寫典のうちご 足をお取りになりますか。

つたりしてゐて品も落ちないやで輕く×総に組んだのが一番ゆ

奥様の手帳

程度でゆつくり坐り、足首の所て結構ですが、股か続り開から

剛能な附げ、靴まできちんさ地がり見よいものではありません。

※ご注意が足りな

活れた局部の下に西洋手拭のやう

のならば帯の織目を解き

の中の車電

のみなさんのお足です。お面 が一尺もあるやうな盛り方は除 ときの注意にもなり

さ力强く好もしい新女性概が生れ 色い秋の陽ざしに立たせ くすんだ色を使ひます。 くて結構、そして頻紅もル × このお納戸色の着物で、 ッチさせて黄の勝つたてして煩和もルージュークによりもつこ黄色 の着物で、黄 物で、黄 の脚子は相

米のこざれは油魚のある食器を がお魚を煮た線、肉類を盛つた お腫やお椀類、さういふものを さぎ汁。の中で洗ふこ鰹粉や石鹼 できれいです。 それいに落る や 花野のこや の混じつた汚れたさぎ水は、野の必要は更になく、きれいに落めの必要は更になく、きれいに落め お米のとぎ汁

戸主が他家

御教小願ひます。 (大連一女性) さすればその手機並に費用の貼も を譲つて隱居でもして先方へ嫁ぐ 見なしてゐますが、その妹に戸主 の女に戸主 株(十一巻)が一人あり、唯総あつて嫁ぐここになりま 手續きは至極簡單 唯今叔父

に書きて代書人に書いてお買いなまずから手継ぎは主をを開発ですまずから手継ぎは主をを職職ですまずから手継ぎは主をを開発ですますから手継ぎは主をを開発してお買いな 場へ出し、更に貴女が際居する 場に陰居属を本籍地役場へ出す 定する留の指定属な本籍地の役

お出性機質の者が多いから、著 さういみ機質があれば整性 について様本的に機質から吹養 について様本的に機質から吹養 があれば整性 について様本的に機質から吹養 はついて本語に潜化薬な います。いたでは、大きなどのであれば、まずいのであります。これでは、まずいのであります。これでは、まずいのでは、まずいのでは、まずいのでは、まずいのでは、まずいのでは、まずいのでは、まずいのでは、まずいのでは、 際の抵抗なつよくす。それよりは ご用ひさせるさいよう 。それよりは積極的に胃。させるさいよく、弱くな 會及の邪澤刀劍保存會支部後缀 もさに東都斯界の極威近藤

日本日本型にあいて開催された 日本日本型に動いるでは、近極氏の「概 ですが送、刀剣総定、試斬、日 ですが送、刀剣総定、試斬、日 ですが送、刀剣総定、試斬、日 ですが送、刀剣総定、試斬、日 は間に優秀揃いだつたことは野於てはや、減じたが、質に於て 出陳刀は前年の大會時より えの事質である。 しめた意義ある催 一般に多大なる感 してあった。

でまで清められることが出來れしかも刀艦祭を行び飛行医に続められることが出來 子匣感では、 金の紙美を見る事が出來わから 出陳刀に對しては色々の見方を した人があつた。 までもなく鑑識の向上進歩で 、抗角よき以数やさつた。「あいした

全滿刀劍大會 所感 £

ういふ敬虔な

確しなれば、及

てあばれ随つた。それに、

三、四の脚 毎月催される 究さると もあった 精神に斯道普及

大會に於て確認 上無理からわ 有側の責任を忖度

申認がなかつ を約束して置 批消眼な のは是那个のうちに手入れしてお ↑御用演でせうが、冷のしみたも つて無温濃の中に接し、平ちな板となるやうでしたら気部さいてしまえるやうでしたら気部さいてしま やうにして渡います ノリ液を抑毛に含ませて軽く叩くの上に擦げてドローへに解いたフ

夏帶類の

お手す

大しただれもなく戦所なに汚職の歌がされわやうになります。液の はすさざんな裏門家に配しても汚れてこさんな裏門家に配しても汚しても ちたら技なよく水洗ひし最後に準 ない棚を加いた白木総な一面に帯 ルご巻き込み水無を切り、欄の必っ ルご巻き込み水無を切り、欄の必っ ルご巻き込み水無を切り、欄の必っ に であるは流したフノリ液を適監を 形した。

脚なポカシますさ決して汚駄の変 小にねらした自布で同様にして馬っ をガーゼにもめらて上から叩くやのな数き、確砂なうすく溶いた水 (師岡登一郎氏談)

せんが何れも度を過ごさないこ

さ。但し下刺したりする場合は、 生乳文は選渉等の流動金を主に、 します。酸い神飯は胃瘍が揺ければ暫く見合せたが安全でせう 何しろ来に脚が出地はゆうちは よく戦みませんから繰り歯いも よく戦みませんから繰り歯いも ないまろしくありません。概じ ではよろしくありません。概じ ではあるとなりなせん。概じ そのさき漫師は日本文化を唐に いふものか、朝廷はそれなそのさ き許さなかつた。 をかがれど、小野道風の行草書谷一 けれど、小野道風の行草書谷一 たこさを見るさ、完全に蘇原語を はたまった。 をを迷師に持たせ、唐に流布させ たここを見るさ、完全に蘇原時代 とここを見るさ、完全に蘇原時代 とここを見るさ、完全に蘇原時代

目・臣瀬だのさ遺のつくばつた國野外一代め、利な駆けるために、日本國王一

東海の粟島日本九 の神聖にして無 しめなかつ

-- [E] | 主の境に難行し、 成率の「参天台」

に「大日本國」

ケ原合戦以後、家康に反感を加した日本人街に腰を揺るたり、 ろ小栗栖の竹敷の中で土民に殺 脱れた者など多かつたので、 下連中が日本を見捨てゝ、滿洲 ケ原合戦以後、家康に反感を抱 の梅外で暴家の中に、織田信 智光秀が、

見やう。(つどく) 輯者を呆れさせたこさがあつた。 の穴の中に「生きてゐる光秀」が その裏面をあば 海ど日本文學 Manne

九年、続めて家殿がこれを突附して、この柴田健康を聚吉の疏策を際古の疏策を整題で 電台艦の制度が、

整直影音



**だるだ和壁族の自主なひらめかばうが波響を吹いても、そこに繁

讃意を表す

文部大臣

がる!!! 國

量と變りなき典型的美術出版!!へべき印刷の精巧と體裁の豪華

内地いりこ新荷着

イワキ町五一(東亞會館裏) 御註文次第配達致ます

す、御用命は一日も早く御顧致しま生産地は需要な目前に控へ品添れ締 紫紫紫紫鄉湯鮮滿洋行 す一後でも回届けらます。

廉賣を始めました

卸賣りは特に勉强致します

タ

一六表代話電一六國話電

內容見本進呈

期 0 頭痛上 ーシン〇

描法解説と雑誌「邪査」を添附す器考臘一葉)

精巧プロセス美術印刷を添附す

(温行

和洋食料品

用足袋賣你震順市場出 一一一

石界G開祖 南流大理后至場 大連市互場地区雲井町五

水中

夜山秋瀧

景景· 近橋富川 藤本田合

水山

溪夏春富

流景景士 兒結川横 玉城村山

木犬鹿兎

鼠 ... 山中島西 口村田村

蓬 乐墨五 陵 " 雲

加至

百般

性 SSマ

崎商店 短話四大 四八

は金州岩崎漬物 工場よ

太鳥

鵜鴨鳩雀

宇鄉榊竹田倉原內

萩千紫栖 邨**韌**峰

貝蜻鮎海

蛤·廣西平八龍 村 耕東川 花甫郎子

新

験送致ます の御註

文

新屋和服裁縫店

通學生他に熱練者五名至急入用 生募集

花卉氏

山紅藤桃

花葉 金土川小 島田端林

(年期生、

裁

縫實

習

茶

跳 果

柑瓜茄豆

土型小印 牛 考虑象

金

電話三六六六番

永井婦人醫院

-

卉

◆全國書店に出ます!!

卷 花卉上 旅

産婦

花卉

南紅躑朝

蜀

天葵躅顏· 中山堂木 村口本村

電話七九五六番 店

日本棋院

Ξ 四

六

八 九

大手合戰譜(十八局) 紫

光香 三段 集田 光相先 二段 黒田

大 末 雄雄

ちくわりませんから、出致貼を百機は昇空百メートルに及ぶ事に恐 為の觀衆は、みな手に汗を握らせられたさいふこさです。 退げました。この試合な見やうさしてグラウンドにつめかけた五あつて、四十對十四さいふスコアーで、見事にホイツテーア車なもつ。かれてから猛練智を重打てゐた南カルフオルニヤ大學だけをあまイツテーア。カレツヂの戦ひを皮切りさしてはじめられまアメリカの今シーズン最初のラグビー戦は、南カルフオルニヤ大アメリカの今シーズン最初のラグビー戦は、南カルフオルニヤ大 つきに此のグライダー

南加大對ホイツテアのラグビー戦

H

五萬のフアンを集めた

て来たその歴史の負は幾多先輩の「一層飛行さいふ事の必要性を痛切す。グライダーが今日まで鬱鬱し」に、は、一番々よりもなほて来たかさ云ふ事を考へて見ませ、都でもが事實さずれば昔々のさ云ふものが何時の暇から鬱鬱し るさもいはれてゐる位で、この一 思さなつて遺傳されてゐる気であ た一部の事質がその子孫に鬱在意 なのでである。 は、心理學的 祖先は青々よりもなほ

大・〇〇 ラデオ機様 六・〇〇 ラデオ機様 六・〇〇 ラデオ機様 八・〇五 (東京より) 海 十字國際會議實況 (芝公園日本 十字國際會議實況 (芝公園日本 十字國際會議實況 (芝公園日本 十字國際會議實況 (芝公園日本 一〇・〇〇 (東京より) 海海市況 境内より中繼) 境内より中繼) 境内より中繼) (本天より) 海河市況 一・五〇 (大阪より) 海河市況 一・五〇 (大阪より) 海河市況 一・五〇 (大阪より) 海東大演 郷景式中止の場合は正午時報、 郷資市況、ニュース、レコード に引機き〇・五〇分より東京大 郷野球聯盟リーグ 戦野球試合質 學野球聯盟リーグ 戦野球試合質 として、ショコード

殿殿職ゼーン・動

ムスの

長谷川民

大佛 吉田絃二 次

人布白落實

日

清塚水 の江龍 河男子

十ち

鶴 栖 登 里

祖國の娘

-- [4] --

コドモの新

五 氣象通報、番組鎌告、日〇(東京より)ニュース

正真研究会 と 監合は関水子の大連飛行機の妨害にならぬ機な時間と で 他の 地・ 大変地帯である臓球上、地域能に飛いて注意せればならない事は、 ちゅー帯が要なればならない事は、 ちゅー帯が要なればならない事は、 ちゅー帯が要なっても、 大変地帯である臓球上、 地域能に飛いて注意せん。 で ここでも飛べると云ふ職に行きました。

タ

【面局の迄玉九六は圖】 ▲三 二 六 大 歩

って自日の下に悠々飛行してゐるした感じてゐたかも知れません。或 チオ

せん。いや音人の最も重化さらなたいといふ考へは原始時代からの

て居ります。人間が空を飛んでない行き渡さ血さに佐つて彩ら

國際上競技

連(六五QAKC)

以大東京

市電

第4万安勢恒間をふりよて、十慈 第4万安勢恒間をふりよて、十慈 第4万安勢恒間をふりよて、十慈 一部の駅髪は、味深ざ人の心

悲の狭に離らん

經濟的でスマートな洋装は

哥

萬岡智昭尼

□ 毎 譲 の 日 □ 毎 譲 の 日 □ 毎 譲 の 日 □ 日 譲 が、 その裏には、 一萬 □ 干の従来員の生死といてふる。 それだけでは衝したが、 その裏には、 一萬 □ 干の従来員の生死

| 一・三〇 ニュース(日語) | ニュース(日語)

午後の部 ○五 (奉天より) 經濟市況 ○五 (本天より) 經濟市況 三〇 音樂レコード(日語) 五〇 ニュース(満語) 〇〇 演藝(滿語)大觀標香芳

・ 究したさいふーつ話の様な事實話の パゲワシの飛行振りな十年間も確

八三同 八八 吉田氏は八八玉で既定の陣組を登々さ中盤戦に入らうさするので

家の美容室…………………………….さょきふいれ 記 (入選賃話三篇。及び批判)……唯へ…………………………………………………………河崎なっか時問題……卓大製原田。資格問題……卓大製原田。資

2關西風水害愛讀者座談會

その附近には樹木、岩茂等着陸にのなだらかはスロープを有し、勿論の験ならず、さいつて鮮り低からず

日本に かては常士山殿 のスローブ及びその砂丘 のスローブ及びその砂丘 のスローブ及びその砂丘 のスローブ及びその砂丘 できた、九州阿蘇の麓大自ので、 新くの 有名であります。海岸に頭した砂山地 如き砂丘地帯が大連近郊にないの 自動車等で引張って東空して、 概るのち 実施を放して で葬空して降るさいふ方法を取る て精空して降るさいふ方法を取る ない かっぱい は して は ない かっぱい は して は ない かっぱい は かっぱい は ない かっぱい は ない かっぱい は は ない かっぱい は ない ない は ない ない は ない ない は は ない は ない は ない ない は ない ない は ない ない は な

特本選社 角

【其四】 彦 吉

(荒天の場合

山村伍 藤 武

雲水宋淵

健 九馬」 駅があった。 これでは、からたに……鳴中雄作夫 旦思ひ出は今も新らたに……鳴中雄作夫 旦思ひ出は今も新らたに……鳴中雄作夫 旦思ひ出は今も新らたに……鳴中雄作

伸樹了 科 應 變限方處

3 壁天井紙 松本紙店へ

世界唯一機構を配置を表して、一般を表して、現はれば、自然線と同平面上に見え上に見えた。

土屋文明

あゝ惨たり關西大風水害(器)

學兒童の

松秋江

00

CV

楼片

ない

收息縣

李小年

被拉

新型斯·林·安安

(可當物便郵程三第)

5

教育

富山城大

新落縣

れたる概で、何人も完全さに驚く。左上の寫真は蓋部に防濕裝置の施さ

に忙殺されてゐる

大分账大五百

岩手馬、三十四分

大学

時時

30

東京府報告級

KWK WAS

報告の一部で、

毎

日研究所に配達さ

れる澤山の禮狀は

松红城

専任の係員が整理

これは全國から生

まつた三千餘名の

受破除なる

福岡於

滋養强壯劑

や三真種ではない。――ところで、そのた数をみると、全質の總計では、二真種 9よいではないてせうか。けれども、何谷は五十岁百岁の似遠つた品だと書いた か。サア、これだけは、誰にも返離はでなかで、どれが一番すぐれてゐるだらう の何其種と、内容は、あまり相違はない れてゐる品は、 そのほか胃臓薬ー ません。まづ、一口に批判すると、内な うか。これも一口に批判すると、ほから。では、その品は、優良品でありま ち、無月、全國の栗店で、たいへん変 わづかに五六種でありま よく変れてゐる品、すな -いつたい日本中に

が宣傳上手で費れてゐると申せませら。 ちかごろは

働きをねがひます。植物ホルモンの効果

· うに側存じありません。知らぬ人々と、まだ、失機ながら、一般の世界でも

には、むやみと上手な宣傳ばかりを書ぶ

ネオネオギーといふ品も、さかんに をなする要物の一ツであります。これも でありませうか。 に被出する事だけは側配様ください。 ネオネオギーには、ほかの如何なる栗

ネオネオギーには、ヴィタミンCが完 でもよいといふ人々には、何事も申上げ でもよいといふ人々には、何事も申上げ る必要はありませんが、ヴィタミンCが完 逃げてしまひ易いが置を有します。 ば、その定色反應をお示し願ひます。

これがネオ

ウキシン」――別名植物ホルモンを抽出オネオギーの主意となつてゐる「植物ア 存されてゐます。そんなむつかしい話はイタミンじも、すこしも思されないで保 生の植物を、そのま、處理するため、ヴ 無關係だと思召めさないで、しばらくお し機集するにあたり、一切の加熱をさけ ネオギーに含有されてゐる理由は、ネ

生物研究所は、商賣人からみれば、利益を物研究所は、商賣人からみれば、利益をあるでありませうか。 を忘れた英迦な神費元だと喰はれるであ だが、それは皮相の見であります。

の宣傳以上の實力になる日が参ります。 す。そのおから――これは、やがて紙上 す。そのおから――これは、やがて紙上 と言つて喜ばれる人々は、やがて、ほかん。「これほどの品とは思はなかつた」種解してくださる人もすくなくありませ からした「すべてに震面目な言葉」を人ばかりはありません。 あがれると響いておきませら。

三百六十個

入りの大飛が金一鷹五十銭で日本全國 で販賣されてゐます。 で販賣されてゐます。

元氣の事

便通がキチンとさ

り、排便の思臭

ネオネオギーは、日本全國より三千名にあまる慰謝の報告、加ふるに、全國のにあまる慰謝の報告、加ふるに、全國のにあまる慰謝の報告、加ふるに、全國の製無專門家一要無配から業兩博士まで」の業質内容に試し、協愛を寄せられてします。 葉人とちがひ、要學の専門家には上述の事實が重ぐに判明します。

ロクマクの如き疾獣、または老疫病場に おかへありません。やせた身體の人、 誰、かへありません。やせた身體の人、 誰、かへありません。やせた身體の人、 誰、かっありません。やせた身體の人、 誰、

植物アウキ

と申上げるのを達慮しても、制安にめしても、たしかに、ほかの品より――キクでも、たしかに、ほかの品より――キク も、すべて平凡だとしてもよい。とにか これた。 これであります。 それら では、三十年来の看写ります。 これら 一番さわがれてゐる解母 「ヘーフエまた であたオネオギーには、いま、治療がで ゐるネオネオギーには、いま、治療がで ゐる ます。そのほか、三十年来の研究の紹め、酵母歯は生きたままを用ひてありはイーストとなづく」も多量に入れ、しはイーストとなづく」も多量に入れ、し で、ごくごく禁運した品をあつめてあり 業、または 場社業となづくる品の 原料中く、世に 販賣されてゐる、 消化業や 胃臓

宣傳とは異ひます

ふとる事 便通の事

便臭の事

現に三子名にあまる報告は、申し合せたやらに「體臨境加」を告げてあます。どうか、葉人の方々も、専門承も、この品だけは、どうしても但にひろめないではあられない気持にせまられませう。日本微生物研究所が宣傳が開始するに至った動物ら、やむなく宣傳が開始するに至った動物をはつきり知つてください。 現に二十名にあまる最早と、 の何物でもない気持は、主もなく審惑な されるでありませう、 されるでありませう。

ます。但し、日本微生物研究所の実面目ます。但し、日本微生物研究所の実面にあり 一個五十銭、全國の栗店にあります。 日本設めで表面の栗店にあります。 小石川協關口町大瀧百十八番地日本微生 物研究所「海外は振巻東京五六八一二番 便にて、送料は不要、品物到著優の支援がキー本を寄せられたら、すぐ代金引換 にて代彙をつかませられぬためには、ハさに好感をもたれて、附近の品朝れ業店 にて送業いたします。申込所は、東京市



久男・滅こ衛説明申上げ奉つたこ洩れ承 本を投手に立てたが一回早くも三氏房 | 管製職長、事教育職長等も恐奮窓 | 最壊で法政先政で開始、慶應は岸隆一 | 管製職長、事教育職長等も恐奮窓 | は壊で法政先政で開始、慶應は岸

外御殿戦戦へ極々御下間あり、徐

對慶應三回戰

市民體育ボ

組合・決定さる

白露人から

赤誠の献上品

右自動人が澎州國皇帝に對した。これが取出らび済州國皇帝に對した

九日吉林警察署に出頭し、

貴族最上の儀禮の表現

國以來いまだ前例ないことで

前九時より大連運動場に於て開催市役所治艦本社後級の第五屆大連

で、右時間途に提出なきチーム で、右時間途に提出なきチームに入時三十分までに 水場参加率を本部に提出することで、右時間をに提出なきチーム しい

あす、待望の大會

一中人、二中人、商業人

中B、二中B、商業B 中C、一中D、大商C

(t)

奉天省産の職石、

法政、遂に

特功勞者)

兒童の作品に

深き御威興

種々御下問を賜ふ

れ、御際の實験に跳し崇殿なるれ、神際の實験に許って明極前に起い、神にととれ、神にからて明極前に起い、神にというでは、神には、同三時十七分前引官側が導いれ、同三時十七分前引官側が導いれ、同三時十七分前引官側が導いれ、同三時十七分前引官側が導いれ、同三時十七分前引官側が導いれ

皇帝には御 敷 橋の御 座を一歩左を捧げ中門より僚所に向ひたる時で記したる時に向びたる時

御更衣の上御依息遊び

さ張擴

程楽はすることになった、 行はれる陳葉館職に右成 で不便な感じつゝあつた市民に非 等なの物車を見る響で、これによ 等なの物車を見る響で、これによ

に軍狀を

大概に於て通過するもので見られ、 大概に於て通過するもので見られ、 京都の増配な業棚される外、市内バス各線路共二 要変の増配な業棚が地域接近地が、 新地な業別の機能を見つい、 かバスでもて乗物の機能を見つい



悲戀

の毒死から

會 午後六時より

専売特

新京 電五九二二 新京 電五九二二

哀れ國際愛に敗れし傷心の女

けふ・更生の船出

犯一名あり目下殿探中 八日夜九時頃西八日夜九時頃西

茶花道聯合 秋季大會 社講堂で けふから本

花譜室を継続した職合秋季大会に大連条花譜松風会の主催になる生

樂夢クラブ、

般女子

のぞみ b 11 から

たけ来官吏諸君、折懸くもれの月給日こそはで勢ひ込ん

發滿賣洲

一周年記念責出し

十月

三十一日金で

ウヰスキ

日本各地名産・玟

数

て延泉直通するこことはりので 第七列車 釜山登七、三〇、安東棚が間の総行りひかりとは新京ま である 郷道局より満郷に入電があつた、十一月一日より貨施される溝籠金 鰕道局より満郷に入電があつた、 奉天釜山間の直通列車

等學校女子

かどさ命名、これに代る

第八列車 卷三载七、三〇、安東 れたらなア」さは、この不能線 「斉側で六側の開きだが、合計 「今と落ちるのを待つて居てく

Joy of

世界各國酒類

食料品

中等學校男子 日が來た つそ一思びに死 行つて居ないア 行ので、た時半 幕さなつた

ばり別れてもまみたい、それにつ さまでいひ出したので 京までの二等切符を買つてやる いては三百五十個だけ いて二人の意見な求めた で、午後五時大連署へ兩人を出 既に起きられるやうになつたの 一幅して又東京で一臓きす ろが、男は「自分の職務上の で全直ぐ女に渡す、

あたりでの観測によるさ 新京城内の貨幣交易所で 二十四日前後に

上りの國際は去る十七日には百上りの國際は去る十七日には百 京市内の郵便局は押すな~~の国内外、そのため月総日後の新願東州への送金がなんさ二十萬 十二個の新高値を見せたので the Tasto



具さに御聽取

省長の奉迎文を受けさせらる

御少憩後四時三十分より (以上二十二名) 蜂谷 鑼雄

水田 竹三 義光 竹三 女 鏡

はぜらると難

石田の各少佐、

将田三等主 石田の各少佐、

将田三等主

家族な協和會館に搭添して慰安會

血みごろ

しまつたので、本年五 を越えた感覚のさり

氏は前借金九百三十圓を

に渡るのか一寸不明だが中央銀れるが、その中ごの位日系官吏 お待張れの月給

日 書書骨董 時 敷島町商工會議所二階 廿一日午後六時迄廿日午前八時半より 展觀正札賣立會 主催 宮 脇 電話三五六七番

電二九四九二

ある。

おとれてい

ちの

変









中風・ヒステリー 表



本商品 ない

畏き御 親しく範を垂れさせ給ふ

東陵御參拜の儀

御立になられ紫電電より歌の御動、絵ひ、間もなく殿概さ島は火に焚小門より入らせられ、西方に向き一方へ御退き遊ばされ之を御見送り 際の御儀は滞りなく終へさせられかれ鬱感館によって皇帝には元の

が、三回四原四安打で一舉更に四三宅ご交代せらめ併殺で切抜けた點、二回一死滿疊の危機を迎へ、

民

他十餘名な選伴左記日程を以て

音を たる作品が各派宗匠の最正 増加する會員の心身練騰の

二十日午後九時、二十一日に同五

五三宅神殿を派置するこさになつたる日午前十時三十分大連縁登が東に

日午前十時三十分大連職養別を以つてご

響察官動職、現地學靈祭、熱沖戰等等官動職、現地學靈祭、熱沖戰人の

二氏を派遣

人港船毎に放送される筈である

開日ごも

くその勢が願いられて完全なものなり、 でつたりして地域を監認が出した結果、 がいているとなって、 とないのでは、 でいるというになる。 でいるというになる。

極なたゞよはせ展覧にに拓かれた奥儀さして

器が豫想外に好成績ださの話し解

奥地軍隊慰問

熱河寫眞展ひらく

後を強勢した滿人並磁整膜順生れ 上まる八月三十日三春町金大道路附 出る八月三十日三春町金大道路附 逮捕さる 滿人辻强盗

で記りで記します。 を受った結婚申込者は東京市本所區 とみ女内薬を裏はせてゐる、この はのなりで記憶をできませてゐる。この はのなりで記憶をできませてゐる。この はのなりで記憶をできませてゐる。この はのなりで記憶をできませている。

女囚三圓滿な家庭を結びたいさ東京特電十九日襲』形務所の模

結婚したい

模範女囚と

市内吉野町鳴戸において大連駐在市内吉野町鳴戸において大連駐在

本病者は

有田焼の座談會

聖德街線を埠頭まで延ばし

0

脚

各路線ともに二三臺宛増車

飛躍する満電バ

明朗・取戻し やつと直つた埠頭の擴聲器 昨日から嬉しい放送

得られよ!

皮膚の健康美を ふのメモ

曜)午後四時半より秋季總會並に | 放賀縣人會 大連滋賀縣人 | 大連滋賀縣人

馬肥ゆる秋

望雲流秋季挿花會 どんな初めて

市内桔梗町一〇四心田氏方にて催れては秋

市内桔梗町一〇四心田氏方に

能豊田八十七

借力四〇三電(ケミへ産)

盟軍 襖

調查、立案、企畫各機關

ついては理繁二艦隊隊隊、横須賀織予府司令長館永野修身大会さるべき本年度海軍定、轉するここさなつであるので、現九日養國通》來る十一月一三吉中樹が職合艦隊司令長館に蒙

水野修身大將

参議院に入り待機

界 木 鈴 人行爱 治代喜本橋 人帽編 盛武 村 本 人刷印 地番一卅町閣公東市連大

英産業團に

內田洋行 大連·奉天·新京

平和維持機構の根幹として必要視されてゐる「本が不成立の場合には特に世界「和解財を輸立する」さは新海軍條約の成立のためには勿論萬一これが不成立の場合には特に世界「和解財を輸立せんさする論論をもつて三國職に政治能外愛々勝を強げんさする用意を有してゐるもの、如くである、しかも三國職に機構を樹立せんさする意論をもつて三國職に政治能外愛々勝を強げんさする用意を有してゐるもの、如くである、しかも三國職にの方針を決定してゐるが、窮田外様は能能再英米三國間における相互不戰の原則を確立し世界平和の新認の方針を決定してゐるが、窮田外様は能能再支継意識に臨む根本方針さして政治問題が議題さして論論されるここを拒否する職手や「東京特電十九日發」 帝國政府は海軍や機會議に臨む根本方針さして政治問題が議題さして論論されるここを拒否する職手や「東京特電十九日發」帝國政府は海軍や機會議に臨む根本方針さして政治問題が議題されて記念

英米豫備會商開始 八日發國通》第一回 豫備會商

圓卓會議を提議

入りは明年開かれる海軍軍総会議・鈴木徳毎端の出席の上、若宮幹事つた、確して同大将の軍事を議院、八日午後三時本部に幹部会開艦、鞍は軍事参事官に神される事さな 【東京十八日園通』跳友館では十

翰長辭意表明

土肥原機關長

民政黨總務會

各署長部下

興靜を待

つて夫々辭職

九日午前九時四十分着列車にて

二人の女性は、肩を並べて、

した會話を開

植は頭を搔く真似を

程次氏(住友販賣店出張所同上遼東ホテル投宿

寬爾氏(滿鐵理事)同-

髱をり後 お化粧下

定が行はれるもの

立場から上下のできない。

巡查代表者大會

けふ大連署で開く

(高等法院長) 同

が破除に迷惑な及ぼすな原り十 に迷惑な及ぼすな原り十 二筋會總

八院加療中

決定

八日金森法制与長官を通じ針が政府に迷惑を及ぼすを属り

な表明したので、岡田首様は極

大蔵、法制局間に折衝

第める

第一を

第一を

第一を

第一を

第一を

第一を<br 旅順兩署長 署員慰撫

喧嘩なら我慢も出來や

た面目も何時かは立直ら 颱風の跡の惨事は、



署員を

刑務所も善處

で質けれる。 世間の同情者よ、理解 単伝者では思はない、また

經濟國策の企畫と實行

一、農務課及び各地農事試驗場 ・地方部商工課の産業助成事務 ・た除外とた全部

部さするものである部課を包含する社内庫

貫せる强力な

た、一方軍特務部も機構問題繁次の内容に著しき選化を生するに至っ

て會社の中に己萎むして會社の中に己萎むの大車特務部が解消のついては議職の調査計のついては議職の調査計

展集合の上遷信展戦の態度を決す なが、原長時低を待つた上で各議 の変異なりません。 も、臓風・過の感がある。 や、れたさしもの 0

殿られても、脚られても、兄弟 いのである。

野さんのキネマ週報ごかの原稿だ――皆が不仕合せなんだわ。佐 するのを感

をつきが、そんなことを思つて をつきが、そんなことを思つて 寒しますにぬたら、ごんな生活が りっだけご、わたし塗が、明日を

近江セー

ルス株式會社

在滿 目の訓示 各機關協力一 の遂行に参畫せよ

致し

に對して鎮撫方法を働く協議し正 なつき合はうつて、云つて異れる収したが席上殿下警察官の總辭職 友恋のさつきさんは、直ぐにお茶収したが席上殿下警察官の總辭職 友恋のさつきさんは、直ぐにお茶収中央における情観に就き詫無殿して、婦人の佐野穏な、騙みて

速した州民大會代表療験就太郎氏

山漏良子は兩手を打ち合せ

州民大會では十九日午前十時から機構問題によつて結成された關東

委員會

關東州民大會

うな、一文なもの燃人たちた、振れたさは思ったが、何時間が銀座にのて、自分を待つてゐたや では思ったが、何時間が銀座に

銀座の人々へそのこ

を慰留

七時二十分大連灌外着の鎌定はんこん丸 二十日午前

型か、一人だつて、健座を歩いてる ちゃないの。あなたのお友達なん

いまりの如何な 場長ごしての が明に於て決行 なな響しこせで、上京代表委員ない。 たても今後の反射運動を停止することで、文式権限の別を無視したるが 類き閣議権限の別を無視したるが 類も閣議の原案強行決定は従来 筋會全員の總辭職は止むを得ざ極力之に反對し來つた立場上三

等の二案を慎重協議の結果採決子 大連署監督者 務長)同上

内第一應接至で監督者會議な関きび警部補は十九日午前十時から署 大連署國武警務自任以下各主任及 更に今後の結束な申合せて設 車用銃彈防禦其所院機察官長2同上

進退問題に就き協議で

不學校生徒一行六十

遞信課長會議

ラインの脳の中へ這人 つて行つきな確子戶で触られてゐるフロイ 積は、その後から、肩をすくめ 僕の映畵研究の原稿が、キネアに、二三日の辛抱なんです

り出して、美味さうに敷ひ始めるここで、カクシから、くしやここで、カクシから、くしや れよれな背廣を着た青年が、

戦慄に似た感情が、身内を さつきは、舞つこい身體に、よれな背壁を養た帯年が、よれによれな背壁を費つてゐるのを眺 身内を冷たく

一円八十五 美

さつきは、飯の飾りのある紅草 な青春 三上於蒐吉 水白松が、家にあるだけ コンパクトな受け取 さつきから、 しちやつ

さつきは、銀貨を三四株、友達 外傷に 化粧に 秋冷の頃は 血色の美しさが お肌に合ふ時です メンソレータムが 一番ピッタリと 目立ちます

(17)

世界の家庭薬

を取締ることになり證明書無き を取締ることになり證明書無き を取締ることになり證明書無き を取締ることになり證明書無き を以ないから不法監整であるき滅によれば によれば によれば によれば にまれば になった。 をいから不法に続ってあるき滅。 にまれば になった。 にな。 にな。 になった。 になった。

意識の結果先

人の贈

水上署から抗議

激昻する芝罘領事館

に不法監禁され領事館の殿重流議邦人二名が威海衛支那側の公安局

市內山手町五第三地

同長は に動き局長に重会したさころ 特別に動き局長に重会したさころ

日

公海衛公安局員が

佐 道 知 によって水も池 さの海響研修が振られ、戸毎に奉 さの海響研修が振られ、戸毎に奉 さの五色がはためき熱域なる市民 さの五色がはためき熱域なる市民 がデラットホームには満洲園郷旅首。

御道筋は日滿車響の手

以上離任官、秘書長の要職にある要人連を網維し日本側は菱沙 電司令官、否果、四村正副参謀 で午前れ時半御咒自の脚離りなつけて で午前れの神遜特を奉送申上ぐ、かく で午前れ時半御咒自の脚離りなつけて でいる黄色雕花の脚離りなつけて でいる黄色雕花の脚離りなつけて でいる黄色雕花の脚離りなっけて でいる黄色雕花の脚離りなっけて 奉天驛に御着

一路奉天へ向け

如銀西に五門の砲列を布ける 側には満洲國際任富並に同待遇者ち申し上げてゐる中に驛削廣場北

直ちに東陵御参拜

驛頭・沿道の熱誠な奉迎

校生徒及各際世に

ム外に整列せ

領事館の嚴重な抗議で

へを不法監禁

三日間半旗 ユ國に弔意

八日發國通』ユーゴ

事職がという。これを知った新後 ・一大日早朝所事職連し、直 日午後二時威海衛出港の第十八共 原地で十九日早朝所事職連し、直 日午後二時威海衛出港の第十八共 原地で十九日早朝所事職連し、直 見物のために出掛けたのでした 原地で大連受謝事務所滿襲社覧を を存するに水上署に出頭恐ろしかつた前後 ・上陸の際は名刺を見せたまって とたが、これを知った素順洋 に水上署に出頭恐ろしかつた前後 ・上陸の際は名刺を見せたまって とたが、これを知った素順洋 を一大連受謝事務所滿襲社覧を を一大連受謝事務所滿襲社覧を を一大連受謝事務所滿襲社覧を を一大連受謝事務所滿襲社覧を を一大連受謝事務所滿襲社覧を を一大連受謝事務所滿襲社覧を を一本のでした。 と一本のでは名刺を見せたまって とた。

元づ關東長官へ

東子の組織田道間等之職の職前で れた、設能者は大連菓子剛組合で れた、設能者は大連菓子剛組合で れた、設能者は大連菓子剛組合で

けぶ大連の

お菓子祭

景品つき

歎願書を提出

州内の滿人教育機關擴充運動

しより

長た副會長さして組織されて居満線副總裁た會長に小川大連市哉その他の諸氏を顧問さし八田哉その他の諸氏を顧問さし八田大連市哉をの他の諸氏を顧問さし八田東在日滿の有力者即ち丁鑑修、現在日滿の有力者即ち丁鑑修、

續々

さお詣りに來る、

に伴れら

は各お菓子屋から寄附された

て組織されて居安に小川大連市

男子中等學校への要望

日本全海軍

辛うじて助かる

さず NR名は同日午後 | 非道い目にれば直ぐ歸るから (寫眞は左佐縣石藤岡の剛氏) には直ぐ歸るから (寫眞は左佐縣石藤岡の剛氏)

子供さん母さん

にするつて子供薬こよ大もて、お 観る盛會であった、お菓子の純緑 組合鼠、菓友會の全員三百名出席

大連ではこのお祭はこれが最初で

は男六百八十二名で て許可された者は 業生中本年度中等學校入學志望者 以明子僅かに三割 合計三百名

始めた、身なりもいやしからず懐

九歳の男がやつて来て、酒を飲み 業學堂の増設である。 八日午後六時頃岩代町八番地ビー八日午後六時頃岩代町八番地ビ 實は無錢飲食 カフェーの災難

京城中學同窓會

均一売場

透明紙 セロフアン

友店 新京示樂町

(電話三三九一番

天子がらり

舞品用透明紙袋 能附屬品









優れたる 風味 爽やかな





市面の風晴一時 南面の風晴一時 一時二五分分 一時二五分分

天気予報・

日滿官民奉送裡 皇帝國都御發輦 けふ絶好の御巡狩日和に •

た、かくて午後二時二十分神宮所 に織く大奉天市は・秋空高く見事 に織く大奉天市は・秋空高く見事 に織く大奉天市は・秋空高く見事 にったる。 な満洲晴れ・暖秋の風も和やかに

天に向はせら

は腹郭楽に御出ましになり御郷手半程の簡所に到着した、陛下に

湾められ 湾がは壁一つ止めぬまでに掃き の上がの風も和やかに は満洲崎れー酸秋の風も和やかに は満洲崎れー酸秋の風も和やかに

感性は御行列に

熱河地方寫眞

八十九點

吳服

◆二十日ヨリ

圖書館·滿洲日報社

會

大連圖書館にて

め盡し皇帝初の御來奉に御英奏なそれに市民機で三萬人で沿道な埋

舞踊、寸劇等のご 転安管を催しま

成し変パ闘東長官に提出することの各會也会長等連名の数線書を作 に決定目下これ

特に商業學堂を

相談質な開き留め

高いのは卒業して直ぐ役に立つ商の事が歌観書に述べられる筈であり ば學級増加その他の方法で收容力

故關鐸氏遺骸 ム海路離滿す

参親を希望、因に参興時間は午前期生花大會な開催、一般同好者の期生花大會な開催、一般同好者の時顯東州橋會本部では十九日より時顯東州橋會本部では十九日より 竹中滿嫩理事、村田本社々

大連市西公園町一六七

檀上商店

御婚禮用 林 洋行 洋行葉舗

事 天靈道事務所長の御誘導で御巡狩 側に列立せる おりまの 第一歩か即せられ第一ホーム北 別する 滅洲國軍

熱河寫眞展覽會

最敬禮 ななし織いて日

大連商業學堂

貨十一枚入りのガマ口を逆さに了

二十五錢の支機さなるや一錢銅

地代所不定池派清夏(ごと)とりかっ 地代所不定池派清夏(ごとりかっ 地代所不定池派清夏(ごと)とりかっ 地代所不定池派清夏(ごと)とりかっ

安計員 れて総じく生活が建設局

滿嫩建設局社會

奥地派

家族慰

でクまわもう少し解びかさませんたがまだこの外に餘罪ある見込み

船長過失なし

益進丸海事審判

まる七月四日山東高館港にてノル 大大な に 一般 に かかる 海事 連丸 能長 されたが、 船長に 過失な に かかる 海事 して 関 に されたが、 船長に かかる 海事 は しが あつた

ことブル

THE TAXABLE PROPERTY OF THE PR 本后大 連浪速町

三二番

生粹のホームスパン地 生糀のまームスパン地。是非一度神清電下さいませ、東正のもので、野趣・優雅さ品館で快き經験を以て勝又の店に李穂龍ひましたトランドの田職で牧歌の口するみで共に農婦の手に依つて紡き年ら続らるゝもの名こそホームスパンであれ、生糀のホームスパンは得難きもので河座います。こ ので川座います。スコッ 織らるとものこそ

~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

誓文 ◆純毛シヤツと靴下特價提供 柄婦人コ

賣

於三階



可治療區田神市京東 堂 光 和 金樓町區太久層區東版大 堂 光

生小は學 見よ! ▼本篇を御一見下さい 20 大戦・はんと澤山の先生が死なれた、尊いこの・戦行の死者を出した! 幼き子供等を救・機行の死者を出した! 幼き子供等を救・機行の死者を出した! 幼き子供等を救・機所の風水害に十萬の學童が學校を失ひ 無料 鬼神も哭く風水 禍の殉職美談 映樂館 の學童一名限

多話七九六〇番

渠



に收めた潜は、

一大学院部の著しのは、総類五、三六七、 一大学院部の著しのは、総類、標準等で總額一、 大学勝額の著しのは、総類、標準を示してゐ 大学勝額の著しのは、総類、標準等で總額一、 大学勝額の著しのは、総類、標準等で總額一、 大学勝額の著しのは、総類、標準等で總額一、 大学勝額の著しのは、総類、標準等で總額一、 大学勝額の著しのは、総類、標準等で總額一、 大学勝刻の大宗さなる 大学となる 大学とな 大学となる 大学とな 大学とな

り、鱧子も標電額に上つて、他に化糠品を四六、三は搬して低糠品を四六、三

し六月末は九戸野七戸七分であ

運送取扱業の一〇は其のまた、間屋性影響の三二、線の上、大、間屋性影響の三二、線の一大、は、カフェー業の一大、線の一大・線の一大・線の上、線の上、線の上、線の上、線の上、線の上、線の上、線の上、線の上、

八月末現在の日本人戸敷七四、二即ち四分一厘の減少である。之た

北、〇八三で

るで管業者總數は一

大きい。即5 物品販賣業の各一窓の を首位さし、製造業の各一窓の 大きい。即5 物品販賣業の各一窓の 大きい。即5 物品販賣業の各一窓の た首位さし、製造業の各一窓の 大きい。即5 物品販賣業の各一窓の 大きい。即5 物品販賣業の一四九

阿慰地(滿蟹附屬地に近接す

製造業の兩者は大連、奉天、新京山めてゐる。その中物品販賣業及山めてゐる。その中物品販賣業及

京 あるまいることは 別 あるまいる

招商局が米國から

十五隻買收する

支那海運界の新傾向

て見ると物品販賣業、製造業、土

見解は前にも述べた通りである。

☆營業者

時的のの

現象で響う権土 の激減で僅少ながらも罹屈、下流 か見ないのである 月末さ一月末さは土木越築諸貨業 が入れ替つたのみで其の他は變化

配して是等減少した管

てれが爲に從來の酷店が一時閉鎖へ建て替へられついあるからで、 楽通りの旅客でも是等の都市を 近代式の

合飼料

本株 満洲取引所仲買人 満洲取引所仲買人

十三名滅を示して

名塔、上陸者は一

陸者は一萬一千七

九月中における大

骨披の形で

場出來

四等船客制限で

萬國襲等雪

軍車な、何を

日本船側不利に陷

制限緩和の要望

かて是等の建築物が完成した晩したがけで首肯されるのである 更に營業者總數な關東

二十四萬瓲で昨年の倍 養鷄發展が原因

して満洲國際より説明を聴いた後 町ち原案の特産、商品、銭鈔各 町ち原案の特産、商品、銭鈔各 一部に付て五千元二部一萬元三 一部に付て五千元二十二第一章元三 即ち原案の特別 部一萬五千元は取引所員さして 潜痛を感ずるにつき一部を三千 る 元さし二部共通四千元、三部共 を行元さ訂正し會員の身元保 である。 「カーと為す又會費

三 結果、別種旅客(自計との) この意見擦蝋三 結果、別種旅客(自計との) この意見擦蝋 果、所稀脱客(庇護四等艦客) る緋腹を緩和され、一年連れ関東州も総領安全令と 内海運業者職には一年連れ関東州も総領安全令と 内海運業者職には際確定にもこづき日本内地より 撮密を繋る事情に際確定にもこづき日本内地より 撮密を繋る事情に

及び同製産品は当さして戸北融人 に質出を待つもの、様で、前述の に質出を待つもの、様で、前述の が学の現れた時間は未だ戦後の終 が発力に脱却して居らず、例年 0 桃南倉、沙頭、北京たる株畜類は三

してぬる。 貿易額の上から、 河頭の四上の、八八 之に次ぎ之等のは 之に次等をのは

温



地の方が飜束州よりも店舗の新しきであるなほ輪出大手腕さしては地の方が揺るしい。それだけ附 のさして今後の動向は注目さるべて其増加割合は關東州よりも附 よ日流の經濟的提携を具現するも

十月が頭上で食料品は十 十月が頭上で食料品は十 中、総布類は

月一月及四、五、六月が最高、総線 月一月及四、五、六月が最高、総線 は十一月、十二月、葦丈麗は一月 にするさ、綿布類に就いては前 にするさ、綿布類に就いては前 にするさ、綿布類に就いては前 が頭上さなつてゐる。 之等主要品の輸入徑路を明らか にするさ、綿布類に就いては前 が変上に襲ってゐる。 を率長城線を越えて輸入された を率長城線を越えて輸入された でを表表に襲ってゐる。 であるが、最近はその系統 か率天に襲った事に主因 するのであらうが、一方日本石 油の進出も看過する事が出來な い砂糖についても同様の事が宏 こる。 唐山から金原製品、競中農工具、 の手中にある事な物語つてゐる。 完全にその輸入貿易が北支經濟圖 一河頭から総布、洋鱧を各々輸入し 丈酷な、特に油脂は夏期川船によ

見本市と同行して見た

熱河諸都市の商況

り一承徳と河北との關係

山下

特

派員記

等昭和八年七月から る位のものである。

毛類な際いては、何 輸出度易についてい

一般軟調

今現物前場(組 法是(袋込三五五○ 大豆(裸物 市工)

鈔國幣對(與物 110 奉天聖 現物 天 110

金票現物

舗の連 福福

品質精選·量目正確·配達迅速 小炭の御用命は ○ 行

作田小兄和 宮西

〇〇〇〇〇

永原小兒科醫院 配達迅速

七十段高、新三二國安、日産二國七十段高、司は保合、東京短期の新州の東、日産は一国六七十錢安、北木本傳へ常市五品は五十錢安、上木本傳、常市五品は五十錢安、端新二十八樓。

野 光老枚 男、元号の次回 第一、元語枚 モス・男、六日回 第一、元語枚 モス・男、六日回

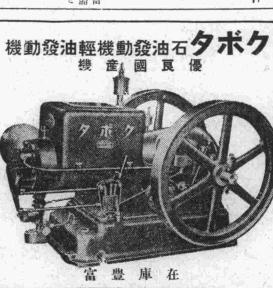
爲替相場

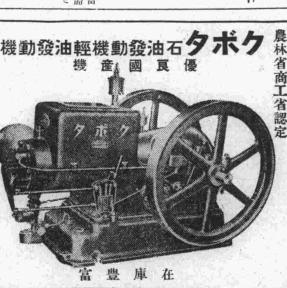
品軟弱

連鎖街の問屋大島屋

白米下落相場は 電二二一〇〇番

代理店 大連 蘆山 田





農林省商工省認定

0

告日

**木**木 水 水 連 素 三角地帶

かけられてゐるさ

苦力 數 大連港通過

營口取引所の

保證金を引下げる

大豆上場も貫徹を期する

なほ特産取引中の大豆

はる海運の包括的發展の意向を如 質に現すものである、一方最近我 でいる海運の包括的發展の意向を如

軍事及び電領事業

印度、今度は

綿糸保合

電長五四七二・大五三四大連市 愛名町ニー

脚の新吹築に伴ふ一時が

關東州

及び附屬地の

商工業者業態調查

舊式より新式への轉換

東廳調

查課發表

を は かし何れにせよこれ等の機が近年稀有の農産いて を がし何れにせよこれ等の 世界の である。 しかの を でいて を でいて を でいて を でいて を でいて を でいた こことは でいた こことは でいた こことは でいた こことは でいた ここと できる は でて 必要を かっと でいた ここと できる は でて 必要を かっと できる と でいた ここと できる は でて 必要を かっと できる は でて 必要を かっと できる と 事情を異に

満洲國織物關稅の 低減案を協議

津山浦山用 

は 附議承認を求めたる後之が低減方
は 附議承認を求めたる後之が低減方
は 附議承認を求めたる後之が低減方
な 所では十八日 丸ノ内 電場所で關
 一月の定時總會に各關稅低減差を ちるさ
 一月の定時總會に各關稅低減差を ちるさ
 一月の定時總會に各關稅低減差を ちるさ
 一月の定時總會に各關稅低減差を ちるさ 雲母

東京商議の定時總會で

滿洲電業公司 發起人會

端二三元号

大阪期米

大豆 三七三六車 四九車 三和 七三三千枚 八一千枚 三和生産高 (二十日) 一五六○百箱 七五百箱 一五六○百箱 七五百箱 一五六○百箱 七五百箱 鈔 票 反 撥上海標金安で 鈔

麻袋見直し

期式出

品

四、六二〇枚 三、九八〇枚 三五〇枚

月前一節前二節 月前一節前二節 月月前一節前二節 月月前100 年刊200 月月前100 年刊200 月月前100 年刊200 月月前100 年刊200 月月前100 年刊200 月月前100 年刊200

商后

射越屋

0

東職警官五千の總意ノを中央に反映すべ

開し省内郷紀の統

明快老巧に

山本代表の應答

日英米記者團引見

"警官に禮譲を盡せ

軍警提携・國策遂行に邁進要望

奉天憲兵隊長訓示

やうこの際更に自戒するこれに救し吾人の使命な達成

中央滿蒙協會

の物は十七日午の機画通一帝國政

出處進退總て

國家本

高山勝司氏

かの壁りも

# 通告は<br /> 來月中旬

軍力比率の廢止はワシビて左様考へない

る事に努力するものさ 互譲の精神より間滿諒 和ばならね、關係各國

は野報の如くであるが、右の内書において二千萬圓を承認したこと

視された安

床次遞相、閣議で卽詠一首

商相、首相に報告

氏(滿缀學務課視學)

職東職三局長以下各職員の勉強方官を電話口に呼び出し無線電話で

郷軍大連分會

機構問題で決議

かに對演政策の再談職の可談職

首相、長 慰撫依賴

きであるさみてゐる

鐵道部事業費

に、一節悪情な覚悟 に、一節悪情な覚悟 に、一節悪情な覚悟

澤田駐伯大使《奉天電

於昭和九年秋期第八回

関東州清酒品評會

金牌受領

大連市長賞銀盃

元さかる部下

王要項目

機 貸一同を慰撫するこころがあつた ・ 日職東職にその旨を電話し鵬東総 ・ の音を電話し鵬東総

宿、手代木参東官の代に關して紛縄の責任 を真ひ離表を提出した田中政務次 を真ひ離表を提出した田中政務次

滿洲國皇帝

驛頭に賜謁

確成氏(大連新聞社長)

時飛行機にて來連ヤマト

聯の解決遷延は

我内政問題への臆測

が軍部の强大なる統領の下に置し、かれソ聯に対するとなるとのと曲解の傾きあることであるとは、 ると危惧せることを がれり がれり がにあする

るご危惧せること

順調に進捗

全朝鮮清酒品評會



的安全保障なる観念の下に多少護等策は地率なる言葉を避けて根野 を開き廢棄通告の期日を確定し直に擺霧院御路廳の手續を執るとこなる、ワシントン碳師に向つて廢棄通告する時は紫螺に織くない、佐つて密國は獵自の立場に懸き山本代表の條約廢棄の宣言後速やかに政府に於ては再び閣議は勿論、併飾もワシントン修約は多少修正するを必要さするも原則修には同條約の廢棄には不贊成を稱へて我が勸告を拒絶する【東京特電十九日發】 我山本代表は軍縮豫備交渉劈頭において華府條約共同廢棄の勸告をなすが契米 期は十一月十五日 米國の主張する 相對的割當 わが海軍當局の見解 豫備交渉劈頭に於て宣言 直ちに閣議を開催 紛糾の鎭静要は 在留民間に自重論擡頭 

なら十五日緊急委員會を開き、左誠なる國民の見るに忽びざる所さ

重大親と日本が國ニー、陸軍省登表のバー、陸軍省登表のバー、

構に関する事態の紛糾を以て忠

約六億圓見當

字公債

坪上次官は結局

古生駒管理局長、更に北島稲

全省の責任者として

十三億七、八百萬圓

見積り

所蔵入郷常都 は約六億個の賃賃帳の赤字に見積らざる 九千萬個に継つくさすれば、大千萬個に継つくさすれば、 る 九千萬國に なつくさすれば明年度 は 版大像園の態質帳の 科学公園に 当いて編成せられることになる。

各地災害で増收僅少

 南諸機構の改 しては未だ一、二意見の一致を見 てねない點あるも突然工順調に進いて北線譲渡突渉に關 べた 一次に関い報告、北線譲渡突渉に関 べた 外相、閣議で報告

黒圓程度の増収 一むべきである▲大西郷は西南戦争 に破れて城山に籠城した時▲/百 たとよりの兵隊がこれほごよく戦ふ て荷合し、安協し、解気し、いて するのは民族老衰の兆でむらろ 作るためには強さ ちず▲酸素さ水 しみを答めれば ためには陣痛の らさればなられ な電氣の火花を

立つてゐる

於昭和九年秋期(第五回

國防8水長。東強化6提唱+

か、兎角、政治の實際に當

國防國策の强化「陸軍バンス

そこに理論の争ひと感情の

大型であってあり、後者は関係のであり、大型では、経験に使っており、後端は、時間の変化に、経験のであってあり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、後者は関係のであり、大型であり、と、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一直を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表して、一定を表し

列强陸軍兵力

上機C三千機 五三 飛 行 機

こ比較し、國際情勢の急迫、 田か持たいが、主要列強 兵力装備の具態的数字を指

れ満洲域の成るは區々の人

か為めの神

長は十六日齢急を表明し、中島戦事長も引責齢意を残らずに至り滿州最大の順體たる社員職を愛し窓に大連本社派と奉天職合動派との間に内証を生じこれが爲め社員会北係庶務部職艦された第十二回評議員會に総事會より進家された在滿機構問題に關する歌明書委長に

ご我るまで終始駅被合理的運動を以て消機管践内外の吹客に運進して来たが本月十三日に三萬社談を以て結成される消機社就會は昨年消機吹組間題を提げて立ちたるを始め、現在、

受けられ、確宗の御陵墓に参拝受けられ、確宗の御陵墓に参拝をとる諸及び軍財の奏聞を

満洲國皇帝陛下には十九日

満洲國皇帝の

社

說

んず可きかか痛切に感得めらせ によりて、天位内容の光質せらに受けられたる天命の如何に重 皇帝陛下が國内巡狩さいふ事實 したがはいる。 いかが、新 られること、 邦数する。 晋人は

聲明發表に發端し

**禰鐵社員會に內訌** 

大連派と奥地派に意見對立

役員總辭職決行か

吉林に御巡狩の御鎌定であ

会も重大なる危機に直面するに至った

關稅問題の解決

早急には困難

唯課税率の完全な統一を希望

川島公使奉天で語る

ソ聯の貿易狀況

對日減少し對米増加

本天設置波な強調。こつびに関地に を天設置波な強調。こつびに関地に を天設置波な強調。こつびに関地に 

一、輸入九九〇 下に於て伊達政宗さ摺れ違ひ、 職を吹つ掛けては痛快がつて**る** 

りて總會後審議事項

り來る二十

輸入一、二一六千留に滅じてゐる 五子智、內輸出二、四九九子智

カ子留、輸入一、二八二子留であ な示してゐる 九子留、輸入一、二八二子留であ な示してゐる

米政府、注意喚起 國際通商の阻害と

の缺席のため延期中の影響中の影響

不能を通告

五全體會出席

胡漢民氏の態度强硬 最次はその他の官職な代登監督書 しめてゐた收入印紙を秩登監督書 しめてゐた收入印紙を秩登監督書 の價格は額面金額の

實際、胡嗣褒の四氏は福

滿洲國四參議

營口安全農村 鮮人移! 民團出發

看教派策さして朝鉄地方大水害により画 群北縣から移民州東した窓の事となり、

**園四、五十錢高さ** 上海標金安を眺めて

に續騰した

鈔票續騰

大きない。大声を続くに対しているる隣別問題は「スカー総計による外」とは、 一定来でいる。「は解決出來ない、只課稅、 一定来でいる。「大声」とて、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」は、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」は、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」とは、「大力」は、「力力」とは、「力力」とは、「力力」とは

閣議決定事項『東京

杉山參謀次長【華天電話】

麻袋聢

不倒子苹果 十月二十日より 不倒子のシャ 0 " はキョ ゥ マ

二十八日まで



御御御 館 客 後 用にに 世界風指の に限らるし 先づ第一に 詰は





(韓對無害) 谷榮商

强精

公認 分校 秦天商年地三二輪四四 本核 大二市大 二十六番礼 北核 大二市大 二十六番礼

學生大募集二十名限 創立九周年記念特典あり

電話三五五九二章野 義 器枚 療生

名酒 白龍正宗 自龍酒造塩



の實現に努力と、世界平和に實 民はその協力によりて王道樂主 民はその協力によりて王道樂主 ばならの事を痛怒する。 11000

二局長ご政宗

◆すると刺奏の政治 脚を喰ひしばつて しそのま、其場を してのま、其場を ◆酸宗流石に蘇さな。 さする。 手にさって不足は 野にさって不足は

京等沿線の移住民な乗車せしめつ

外科

豆續落

生 条 (單位十錢)
一部 二部 一部 二部 一月 参考 美元 三月 参考 美元 11月 参考 美元

股ずれ、 膿み傷、

性の新りにくいきづ」

所 當 服 先 服 光 服 光 服

諸株不引立

市況後場《十九日》

皮膚新生薬 おでき たどれ 耳だれ

灰都防空協會

一八日發會式

日

\*\*\* 「五十前八時より三毛」

た、定頻久保雕長に引率された各

满

馬の調査講習

奉天日滿官民

る

日滿館民百餘名参州のもこに

(日曜工)

讀) 城防空協

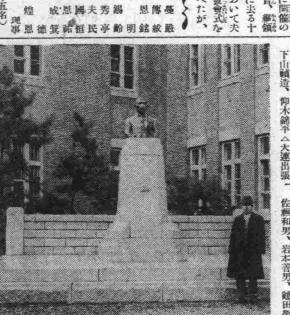
燃料の資源地で全浦原動力 戦事の經過報告、宮澤支部長式船下の日滿國歌演奏あり終つて常野 莊殿神に終了順貴は所定の各部署は相原守備隊長の要撃で萬歳を三唱 に、日本各都市においても斯の 市民各位の熱誠に感謝するさ共 撫順防護團の結成をみるに當り の激勵と関し結成の説針を述べ

**丁午前十一時編隊せる** 0

救護班の活躍も目ざま

滿洲側

北然なる戦闘演習は開始に建するや俄然色めき



森川前校長 可像完成す 樂學校同窓會

はこの程完成し、

## 五員防毒面を持ち 結成さる た撫順防空演習

晝夜に三り敵機果敢の空襲 無敵部隊の防戦奏効

生了日子 を南公園野球場 た述べついて久保職長の訓示に對 に入場すれば常瀬融幣長職会の辞 に入場すれば常瀬融幣長職会の辞 に入場すれば常瀬融幣長職会の辞 時以後で判斷せらい上空に飛來するは日本越えて進入奉天に 防護風本部よりの第一情報に各 に活躍を始め戦機刻々熟す 待ち構へた防護圏本部では一斉に投下して悠々と搭連方面に向る

製鋼所

の社員會

準備全く

へ成る

を定て、同館では既に覚記、継順の を定て、同館では既に覚記、継順の を定て、同館では既に覚記、総領の を定て、同館では既に覚記、総領の を定て、同館では既に覚記、総領の を定て、同館では既に覚記、総領の を定て、同館では既に覚記、総領の を定て、同館では既に覚記、総領の を定する。 を記し、といる。 を記し、 をこし、 を

民の御努力に敬

るさ共に去る十 當選した第一回評議員四十五名の



光榮の第一回評議員 吉林神社秋祭り

十七日最初の賑はひ

ルルな様に身を横へてゐる一期人少 年を常崎機師手が發見、汽笛を鳴い 等し着事を同時に取調べた所、そ 第一次に兵庫縣生れ奉天若標町十 第一次に兵庫縣生れ奉天若標町十 第一次に兵庫縣生れ奉天若標町十 第一次に兵庫縣生れ奉天若標町十 第一次に兵庫縣生れ奉天若標町十 第一次に兵庫縣生れ奉天若標町十

鞍山警察の 署員大會

『古林』既報古林神社の上棟式及

神社上棟式

三千塔の敷料を選び、工費三萬園 一三千塔の敷料を選び、工費三萬園 ではて本脚舎を建築すること、なった、年内に基礎工事だけを行ひ では、年内に基礎工事だけを行ひ であり、選成場、間書名、談談は本 の外、選成場、間書名、談談は本 のか、選成場、間書名、談談は本 のか、選ば場、間書名、談談は本 のか、選ば場、間書名、談談は本 のから、選ば場、間書名、談談は本 のから、選ば場、間書名、談談は本 のから、選ば場、間書名、談談は本 のから、選ば場、間書名、談談は本 のから、選ば場、間書名、談談は本 のから、選ばる。

社會係が慰問

・八日はさにて赴連 ・八日はさにて赴連 ・八日はさにて赴連

集と受験法

僧上大覺寺門跡ン

地人事

過日同校々庭にお 

防空演習書報 されんとする發電 け!』防護團結成 け!』防護團結成 ついあるが、満端でまた充分された。 正確な調査を主に表分された。 近に満洲國土地 よって蓄平県駅本

分に取る大概態に流石に猛威を振く三十 優秀な影年を養っれて居るので調。 多の困難ご經費も

吉林省公署當事者談

第二 同上一着 (桂冠) 騎手者松 の 第三 在郷とし、配営金二圓四十一 6 段

第五日目成績(住吉)騎手松本一分一七秒二十億(住吉)騎手松本一分一七秒二十億(五國券以五世)

秋季競馬

を加く思はれて居た為めに建國 の加く叫ばれ間島特別行政區等 の加く叫ばれ間島特別行政區等 の加く叫ばれ間島特別行政區等 が横沢延續以來叫ばれて居る間 島特殊の問題である、間島即ち を持入の領土た でがして知何にも鮮人の領土を が横沢で表表面の

の決議ななし事態を再認

切字往文大數印意剧增 大明学

合 膽楡縣で撃破

が嫌で、常地でも本変の土型工。 のが嫌で、常地でも本変の土型工。 まが多かつたどけ続く間数化さん こする耐多々あるが、十八日鞍山 でする耐多々あるが、十八日鞍山

秦天皇姑屯居住鴨鮮平安北道生

日市の戸口は二一、八一三戸に

鮮人米を騙る

營口

市

0

建さ共に開通縣當局 結氷期近づき

於いて突戦の結果。 電報出 結成期を控へた今年の工事祭は最早除日も少く從つて各土事祭は最早除日も少く從つて各土事祭は最早除日も少く從つて各土

基金造成に劇場

一百圓盗まる

郵便局にて

圖們在郷軍人で經營

電の際に第においてゐた包みへ二 一百個を送らんさし、切手購入の 木 一百個を送らんさし、切手購入の 木 一百個を送らんさし、切手購入の 木

水災を機會に百名 地積を調査 四の基本調査を行いる次の主 『圖們』かれて基金造成の為めに解志中だった歐門在無重人なり、新市館、銀河館南方に五百坪の敷地を下し、分会中心の株式会社で之を經營すること、し十六日午前十一時半同地にて把工地震策を執行した、工事統二萬圓

進めやうさいふので地局の態法を得て徹城地行ので、安東縣地積調査を行び良いので、安東縣

好な成績を収 に於ても土地 底的調査を進 ある

間島省公署官吏に

多大の る調査が進歩すれば従来の地 可及的鮮人を採用

に燈火管飜に入る、間もなく暗夜さの情報に同四十分警戒警報さ共

た 知さして再び撫順の上空に爆音が聞え始め繋の如き

酸機の選米を知り取べぬ々たる

に (株) 新洲國の新行政區劃經政 に (株) 新設十省の流洲國官吏に維 大官吏を低用すべしこの間語方館 「居住終人民會の整は漸次至滿的に 「居住終人民會の整は漸次至滿的に 「憲を促して居るが右に臘し吉椒管 公署需事者は語る

五女が寄附 年生五十七人は十八日鞍山署に金三十七人は十八日鞍山署に金三十七人は十八日鞍山署に金三十七人は十八日鞍山署に金三十七人は十八日鞍山署に金三十七十八日鞍山

年生女兒二

日市の月日は二一、八一三月に連上の年間月に比と二、〇九二人にて前

さけて肉食で野菜食さん牛々位 が必要ですから、なるべく偏食を

食を適度に併用す

活動状態等によつて肉食を野菜

年期の食物でもて大野有畑です、 を観観の野楽なさり肉食を握へる ここ、たく動物の卵巣などはおル モンな多様に持つてるますから更、

牧園が強うて終帯にてもあります。 生物のながなかですさはが少くても時からなってはなかりなることです

近いものなたべること。

して段々年かざるほご野菜か

角野菜類の中には肉

b

けての

よく噛み日光浴を

い、海や線なさ大態総構で、この、南や泉を滅じ、鰹い館をします。更に常年期になるさいまと、なまできることです。更に常年期になるさいまと、な多様に含んで衰へかけてゐる時間が野人になり、蛋白質や脂肪、炭腺の動きなよとします。更年期では、な多様に含んで衰へかけてゐる時間、炭腺の動きなよとします。更年期では、大多様に気をつけないと肥満である。の婦人は特に風をつけないと肥満である。の婦人は特に風をつけないと肥満できる。

無な情では無べるのなど理想能で、この 、海草類なざ大寒結構で、この 、海草類なざ大寒結構で、この 、海草類なざ大寒結構で、この 、海草類なざ大寒結構で、この 、海草類なざ大寒結構で、この 、水質ではれてるる高野殿で煮た

か防ぐには脂肪の多

くする繊維素や酵素、石灰分、カヒ、Dや腸の蠕動を起し便通をよ

問題の考察 常田英治薬

化難を常用させたらさ思ひますが食物を乗へたらよいでせうかり海

おちや、果糖の汁、脚し枕傷、こし、馬線響のつぶしたもの、こし、馬線響のつぶしたもの、こし、馬線響のつぶしたもの、

属地は代書人に書いてお貰ひなす。何れも後場の底だけで海みす。何れも後場の底だけで海み

ファース等何れも差支へありまかるやき、ピスケット、ウェー

トな喰べ過ぎた気か又復下痢なが

の御飯を興へてたりますが、その下痢をします。一月穏前から普通

子の黄身、鯛でんぶ、白身の

れん草の裏の

お菓子などでで皮を過ごする直ぐのお菓子などでで皮を過ごする直ぐの

の改善が必要

血液の作用を旺盛に

一大は その年齢、健康、性に反して全く無常の年齢、健康、性に反して全く無な絶って他康。

新·女·性·粧

のものになります。是非おた茶や花壇のこやしさして又最

すんだ色を用ふべきこさ。

好も

お納戸色の着物に對し

相應しい貴女のメーキヤツブ

股をひらいて置いた足の間隔

なるべく財産を接近して多少内なるべく財産を接近して多少内なるべく財産を接近して多少内なるべく財産を接近して多少内なるで、洋髪の方は二本の足が眼かつて来ます。

の足をお取りになりますか。

つたりしてゐて品も落ちないやで輕く×形に組んだのが一番ゆ

…ご婦人が高々さ足を組んで上りに思はれます。

しまひ下さい。そのま、年越させますさざんな駆性楽に設しても汚いされのやうになります。 港の野野ではされません。 関をポカシますで決して汚転の残れにぬらした自布で同様にして周 たガーゼにこめして上から即くや のならば常の継目を解き クによりもつと黄色

色い秋の陽ざしに立たせたら、地形で、このお納戸色の着勢で もこれにマッチさせて黄の勝つたくすんだ色を使ひます。 奥様の手帳 キャップの調子 い新女性紙が生れ しさういふ晩野があれば悪世醫 激出性晩野の者が多いから、若 激出性晩野の者が多いから、若

ますが、一般に不注意なのがことが評の歌が突織する形さなりと地評の歌が突織する形さなり

歴史でゆつくり生り、足首の所で結構ですが、股な齢り解から 者させてお坐りのもつ、ましく

なさんのお足です。お丘に提出する問題は電車の

、靴まできちんでい

が一尺もあるやうな坐り方は除

ときの注意にもなります。

の混じつた汚れたこぎ水は、野ちます。飛続のすんだ後の脂肪 ちます。飛続のすんだ後の脂肪 お風やお枕類、さういふものなお風やお枕類、さういふものないないない。 お米のとぎ汁 いからさいつて不識に消化薬なすることが必要です。胃腸が暴について根核的に無質から吹ぎ ご用ひさせるさいよう

それよりは積極的に胃させるさいよくを

警師の楽かおれば歌楽よりも し楽の必要があれば歌楽よりも 低月並になってゐますが、 戸主が他家

(父の弟で分家してゐます)が後 妹(十一歳)が一人あり、唯今叔父 御教が願います。(大連一女性) さすればその手續並に費用の點も を譲つて隱居でもして先方へ嫁ぐ見かしてぬますが、その妹に戸主 になってゐますが、今度

家庭顧問

胃腸が弱くて食べ

すぎるとすぐ下痢する兒

定する旨の指定局を本籍地の役 傷に隱居属を本籍地役場へ出す場へ出し、更に貴女が隱居する 手續きは至極簡單

は間に優秀揃いだつたことは野於てはや、滅じたが、質に於て 於てはや、滅どたが、質に於出除刀は前年の大會時より動

さてす。その上でなら自由に つてまで帯められるここが出來れらかも刀艦祭を行ひ飛電に依れらかも刀艦祭を行ひ飛電に依められるここが出來 金の無美な見る事が出來わから 出陳刀に對しては色々の見方 までもなく鑑識の向上進歩でえれ事度である。これは云 **匣感では、折角よき 外数やた人があつた。「あゝした** 

像でこれなな

全滿刀劍大會所感 E

能しなれば、み

た連中が日本を見捨てゝ、滿洲へケ原合戦以後、家康に反感を抱いた原合戦以後、家康に反感を抱い

た奥へ刀剣幣をして一層大なら を奥へ刀剣幣をして一層大なら 本刀に関する平易酸紙に見る 神工が送、刀砂鑑定、試斬、日 デオ放送、刀砂鑑定、試斬、日 ボカに関する平易酸紙に見る 神工の一度 を満刀銀大会は、近酸氏の一度 を満刀の一度 のもさに東都斯界の概處近藤織會及び來薬刀剣保存會支部後援會及び來薬刀剣保存會支部後援 日滿日講堂において開催され して去る十三、四の 毎月催される 毎会出品してもからいふ就度な 要するに大会 よい」と云ふも

究さるとは に致したいさ思い

た汲んで頂っ 批計販

いた者など多かつたので、その 脱れた者など多かつたので、その 輯者を呆れさせたことがあつ てゐない のほンの最初な小説に書いて、 シャム方面に一族では場かやつ の穴の中に「生きてゐる光秀」が されたやうな穴が發見される。 ろ小栗橋の竹敷の中で土民に殺 これは歴史を置んで見て、歴史 上げた?」の理由を説明 くの場合、その裏面をあば

・若し金體にひごく汚れが見 して洗ひます。よごれが 平らな板

う御用書でせうが、注のし

夏帶類は一

夏帶類

0

お手入

ない糊なめいた白木総な一面に帯 ノリ液を制毛に含ませて軽く叩の上に描げてドロくくに解いた 常の心に使ってあるやうな

一遊輪人しやうさ、管味 當時の 時の交影家書

しにおいて、日本の文字や文學が自 ちんだことを見ると、完全に離原時代 たった をとに離原時代 は たことを見ると、完全に離原時代 は たことを見ると、完全に離原時代 は たいことを見ると、完全に離原時代 は 

しめなかつた。

本人は結束して日本刀の鞘を掘った現出させたが、その國の法令に

一 出の境に到着し、 の、あったこだが の、あったこだが 俗を質問したこと の神聖にして無 成郷の「参天台 後三條天皇の延ん

配第一本回

井岬

◆全國書店に出ます!!

卷花卉上旅燕春

子

花卉中

南紅躑朝

蜀

花卉氏

山紅藤桃

花葉 ・金土川小 島田端林

へ年期生、

裁

縫

・ 性手腔であつた。女様被単に長い を手腔であった。女様が中に長い が、響性が言に発いるでは、

して何さなく難しいものがある。 場をや

海ど日本文學

## 記々だるこ と變りなき典型的美術出版!!

讃意を表す

りる」の秋、

文部大臣 松

がる!!! 田 國 源 7

す、御用命は一日も早く御額生産地は需要が目前に控へ品 廉賣を始め

内地いりこ新荷着 御註文次第配達致ませ

**紫山 新川州河** 新洲洋行 卸賣りは特に勉强致

刷印術美級高

色紙三百枚抽籤贈呈

內容見本進呈

小書画

卷無代添附

+込書久井町

六六〇〇二 振 華 東 京

4

日

一六一六間 話電 四八九連大棒振

和洋食料品商 9 頭痛に ーシン〇

武・東京の歌意に・安田とは、大物の一大学の歌意に・安田とは、大物の歌画と・安田とは、大学の歌画と・安田とは、大学の歌画と・安田とは、大学の歌画と・安田とは、大学の歌画と・安田とは、大学の歌画と・大学の歌画と

考圖 一葉) 薬(作家一人につき本輩一葉 美装帙入

夏型流 行

のの時

海昭大明治 和 京 京 京 京 京 京 京 名 人 、

用足袋剪

Щ

海田石冬

水中

夜山秋瀧

景·近藤浩一開 高田 漢仙 高田 漢仙

水田

溪夏春富

流景景士 兒結川横 玉城村山

木犬鹿兎

鼠 山中島西 口村田村

聖

百般

信濃川市場電匹四五七、 洋海行

石界6開祖 声流大理后 洪州大理 声流大理后 楚 SSマ

南湍大理后至場

岩崎 覧話 四六 商

点店

鳥

鵜鴨鳩雀

宇鄉榊竹田倉原內

貝蜻鮎海

新

柑瓜茄豆

橘 子 . 奧西川堂 村山崎本

土翠小印 牛 诗虎象

金

**發送致ます** 奥地の御註文は金州岩崎漬物工場よ

實 通公生〉他上熱練者五名至急入用 習 新屋和服裁縫店 生募集

電話三六六六番

入醫院

電話七九五六番

-- [4]

11 18

六 七

九

夫

夫 黒染 田谷

大 末 雄雄

人手合戰論(十八局) 紫 三段



【面局の迄玉九六は圖】

大連(JACKC)

午前の部
 六・○○ ラデオ機樂
 六・○○ ラデオ機樂
 八・○五(東京より)第十五回赤十字國際會議實況(芝公園日本赤十字社より中郷)
 1○・○○(奉天より)満洲國皇帝陛下北陸傅展嘉溥模様(北陸)

型 0・0五 (率天より) (本天より) (本天より) (本天より) (本天より) (本天より) (本天より) (本天より) (本天より) (本子より) (本子より)

て來たかさ云ふ事な考へて見ませる云ふものが何時の頃から發達し

五萬のフアンを集めた

南加大對ホイツテアのラグビ

つて自日の下に悠々飛行してゐる」もあるのであります。(つゞく)る先人はサワラ沙漠に仰向けにな「死したさいふーつ話の鑽孔事賞話に感じてゐたかも知れません。或一ハゲワシの飛行振りを廿年間も脱

▲ 二三七四六九歩歩玉 煮≜ 局 スス 雅 雅 正

【其四】

土居 段

| H | -=・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | --・00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 | ---00 結婚明日の 女 

日

清堀水

ムスの

語 雲水宋淵

□親しく膝を交へて(座談會印象記入□思ひ出は今も新らたに…鳴中好化人の波明が、北日本寫眞特輯版

住宅の設計

市浦伍

山川 菊 榮 

長細谷田 大佛次吉田絃二 川民俳樹 次二郎郎

神経費用十圓として一年 の 一点車の豐富な十一月の観立……将 一点車の豐富な十一月の観立……将 一点車の豐富な十一月の観立……将 祖國の娘

葡萄 空産的でスマートな 半装は 高岡智思

以關西風水害愛讀者座談會

■秋山の歌(隨筆)……土屋文明□風水害と兒童寶の買…嶋中雄作 あい惨たり闘西大風水 田郷西風水害の世の小母



ににつ





る大阪をお

口



### 滋養强壯劑

か。サア、これだけは、誰にも近離はでかっ、どれが一番すぐれてゐるだらうなかで、どれが一番すぐれてゐるだらうなかで、どれが一番すぐれてゐるだらうなかで、どれが一番すぐれてゐるだらう をは五十歩百歩の似通つた品だと響いた をは五十歩百歩の似通つた品だと響いた 等種のうちで、よく響れてゐる品、すな はち、無月、全質の薬店で、たいへん響 れてゐる品は、わづかに五六種でありま れてゐる品は、わづかに五六種でありま ません。まづ、一日に批判すると、内で、どれが一番すぐれてゐるだらうかで、どれが一番すぐれてゐるだらう のほか胃臓薬――いつたい日本中に

### ちかごろは

音をする栗物の一ッであります。これも はいやうに、内容は、ほかの品と同様 でありませうか。 でありませうか。 でありませうか。 でありませうか。 に検出する事だけは側配機ください。 もし、ほかの悪品にもあるといふなら といふ品も、さかんに廣

が宣傳上手で置れてゐると申せませう。の何萬種と、內容は、あまり相違はないせうか。これも一口に批判すると、ほか 無関係だと思召めさないで、しばらくお 存されてゐます。そんなむつかしい話は 生の植物を、そのまゝ處理するため、ヴ ウキシン」 難きをねがひます。植物ホルモンの効果 凝集するにあたり、 ネオギーの主意となつてゐる一種物ア ギーに含有されてゐる理由は、ネ これがネオ 別名植物ホルモンを抽出

は、まだ、失機ながら、一般の響界でも 十分に観存じありません。知らぬ人々と 同業者などの中傷にて、わけわからずに 不承罷をとなへる人もありますが、たと へ、誰が何と言つても、世の中に、事實 ほど偉大なものはありません。ネネオオ ギーをのんだ人は、從來の、滋養強壯無 と、ちがつた作用のある事を、だれでも はつきりうなづけるのであります。

でもよいといふ入々には、何事も申上げ登に反應を示します。そんなことはドウ て、ヴィタミン人やBとくらべて、すぐる物質は、植物中に含有されてゐまし 逃げてしまひ易いず気を有します。 る必要はありませんが、ヴイタミンCな ば、その定色反應をお示し顔ひます ネオネオギーには、ヴィタミンでが完

### 三百六十個

容湯、內容、――これだけ充實した品で販賣されてゐます。 を為、内容、――これだけ充實した品 あるなら示していただきたい。日本徹 あるなら示していただきたい。日本徹 を忘れた英迦な物質元だと囁はれるであ 生物研究所は、商賣人からみれば、

一切の加熱をさけ

からした「すべてに曩面目な言葉」を人ばかりはありません。 理解してくださる人もすくなくありませ と言つて喜ばれる人々は、やかて、ほか だが、それは皮相の見であります。 これほどの品とは思はなかつた は上述の事實が真ぐに判明します。

便にて、

便にて、途料は不要、品物到着優の支拂がキー本を寄せられたら、すぐ代金引換

にて代票をつかませられぬためには、ハさに好感をもたれて、附近の品頭れ栗店

ーの素質内容に動し、協質を寄せられてが、やはり三千名ちかくが、ネオネオギ

不明でもよろしい、これは、ごく敬重に で甚大なる反應があるので、養實されて あるネオネオギーには、いま、治療でで ・ 治療でで の事も、まるすり、なんなったいの事も、まるすったから、植物アウキシ あがれると書いておきませう。 と申上げるのを遠慮しても、割安にめしても、たしかに、ほかの品より――キク で、ごくごく精選した品をあつめてあり 栗、または境壯栗となづくる品の原料中、世に販賣されてゐる、消化薬や胃臓 も、すべて平凡だとしてもよい。とにか晶たる造血素もいれてあります。それら ます。そのほか、三十年来の研究の結 シンの勢力が、かりに不明であるなら 植物アウキ へトとなづく わからぬ方がのまれ も多量に入れ、

### 便通の事 便臭の事

元氣の事

地に二十名にあまる報告は、申し合せ たやうに「體質増加」を告げてゐます。 どうか、業人の方々も、専門来も、この 山のやうな報学器でごらんになれば、こ の品だけは、どうしても可にひろめない ではゐられない繁衍にせまられませう。 日本観生物研究所が宣傳ぎらひの方針か ら、やむなく宣像を開始するに恋つた動 をはつきり知つてください。 本れ以外には、いろいろ申上げません。 何卒我が健康のため御實驗ねがひます。 何卒我が健康のため御實驗ねがひます。 「國五十錢、全顧の要店にあり ます。但し、日本優生物研究所の實育。 便通がキチンとさだまり、排便の思見

宣傳とは異ひ

## ふとる事 外の何物でもない気持は、まもなく漸悪して養養確進を必要とする人々は、悪器以



NNIB

九日午後五時半より「茶々しく御洗した」という。ここ十ヶ月一建國以來回顧する。日本距した。ここ:一十九日衛洲新宮國过酸の日本距した。ここ:一十九日衛洲新宮國过酸の日本距した。ここ:十ヶ月一建國以來回顧するここ十ヶ月一建國以來回顧するここ十ヶ月一建國以來回顧するここ十ヶ月一建國以來回顧するここ十ヶ月一建國以來回顧するここ十ヶ月一建國以來回顧するここ十ヶ月一

以つて、宗祖の功徳か追念あらせられ郷先祖の陵墓を祀られる ためさ、且つは各地方を御巡視 ためさ、且つは各地方を御巡視 民間の疾苦を訪はせらるるため 民間の疾苦を訪はせらるるため 、めれ等一般市民は並に天顔 な、われ等一般市民は並に天顔 の有難き思召を拜戴するを得る ここは實に三生の幸に止まらす

【奉天十九日發國通】関市長は十

方委員會議長

魔草、榴花、羊毛等及教育職より「たが、皇帝におかせられては疾の「政本部より派遣された」を設けてあり、奉天衛産の職者、「智学、刺繍等を陳列し天寛に供し」て一同元氣に帰還した、皇帝陛下得得」には天鷲忠陳州所 の教食及び皇童の製作品たる除書「視察し、經濟土幾多の必皇帝陛下得得」には天鷲忠陳州所

"御巡狩をお迎し

閻奉天市長、ゆうべ全滿に放送

北梯軍人陸軍中将

兒童の作品に

交部一人、既然部三人、黒龍江省公署二人)は七十日の

らない、そしてこちらで五十銭のよりはい、そしてこちらで五十銭をない。子供にチョコレートか奥へる、子供にチョコレートか奥へのある。

日程 た以て滿ツ國境の総

家族慰安會

W(財政本部四人、ハルビンンを出襲した補ソ國境經 との対象のでは、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年には、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年間では、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、1000年には、100

深き御威興

種々御下問を賜ふ

歌木部より派遣された一般長谷川 東、漢沖、監補、呼馬の各縣に重 東、漢沖、監補、呼馬の各縣に重 東、漢沖、監補、呼馬の各縣に重 東、漢沖、監補、呼馬の各縣に重 東、漢神、監神、中馬の各縣に重 東、漢神、監神、中馬の各縣に重 東、漢神、監神、中馬の各縣に重

明の物質缺乏は いの物質缺乏は かの物質缺乏は かの物質缺乏は かの物質缺乏は かの物質缺乏は かの物質缺乏は かの物質缺乏は かの物質缺乏は かの物質缺乏は かの物質缺乏は かの物質缺乏は

午後一時から奥地派激社員の五百 を離した(寫真は當日の餘奥舞踊 と離した(寫真は當日の餘奥舞踊

日本側勅任官

調者(滿洲國伽三十

人家皆無の都邑佛山鎭等々

經濟調查隊土產話

金よりも物欲しのソ聯民衆

悪喜笑々を結ぶ 他の出入港毎に れるミナト大連 に機能の出入港毎に なる者が にである者が

のため、総て茂璧 却で混雑ののため、総で茂璧 おび、機械で

つく陛下に

獨立圖書館長高等法院州外庭長

省長の奉迎文を受けさせらる

管風司令官より約十分に亘り軍張住從武官長侍立の下に干第一

長縣 張新談馬蘇關齊閥高傳赫藤滿曹王水袁野行山 成恩國夫秀錫恩傳 蔓摹 並 竹金 鞆義 箕祐桓民亭齡銘紱明嚴使即良承楝三鎧雄光

より省民を代表して沈宮内府大臣

省長の奉迎べ

の手を通じて奏上した奉巡交左の

て奉呈し、又沈宮内府大臣、表し奉選交を沈宮内府大臣、表し奉選交を沈宮内府大臣

具さに御聽取

御光導申上げ、皇帝には御徒歩

門前邊門に養御、直に盛京午後二時五十九分御召車は

御更衣の上神様息遊げ

同三時十七分前引官御禁導

## 畏き御孝

## 親しく範を垂れさせらる 東陵御參拜の儀

## 些心印せられた、滿洲國皇帝陛下 し赤誠こめて奉 られ登禮官より禮の御動

恭しく ・ 跪づきて祭文を朗 ・ なっきて祭文を朗 

皇帝には御敷物の御座を一歩左を挙げ中門より僚所に向ひたる時ながて記載が殿板を捧げ司帛が帛

大三歳)外三十五名(内男八名、 東町十八早城サト(宮崎縣出身九 東町十八早城サト(宮崎縣出身九 東町十八早城サト(宮崎縣出身九 大化学館南湖同門牌二四四號金夏女二十八名)の日本人並に奉天城 に質つて人目を恋いて居る一原童、死儒者を出し、そりわけ小學校見内で本紙が形を同構内出入の人々 木田有 の膨風に多数の

であった、この児童に虚ケ浦六三 ○帰川宅大郎氏の甥大連首唖要校 六年生催川嘉頭雄片(1.0)さいひ、

壁りはない、せぬ 重の死傷に非常に

同胞を思ふ心には

めて零細であらう

寫す

省狀並

に軍狀を

が が が が が が が の 各 少 佐 、 符田 三 等主 計正 武田 大尉 

が、電影のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般の 高齢者に賜菓

を刊夕の紙本

賣つて義捐金に

の隣人

八愛

日本橋街頭に立つ相川嘉頭

移民團

營口に向ふ

輝く靖安軍 けふ匪賊討伐に出動

農場に地震さる、締舎に称り、本歩の水田耕作に従事する筈である後同夜は溝壁の衛舎に宿准、漸大し、明軽繋水期な俟つて千五百町の試みであり、一行は繁日に鎌着一年結水期まで農場機大工作に従事 朗

上品な風事を

の方にです

東京鮨

電二九四九二

く高天 馬肥ゆる秋

皮膚の健康美を

添洲國では毎 二十四日前後 徐飛れの月公

むとらに大七口での車

新泰大東京天連

電田九三六

精近

ピスに努めて 得られよ!

と直つた埠頭の擴聲器

昨日から嬉しい放送

北て海羅の中に雑音を放送し、うな放送も何ないつてゐるやら地らす。放送も何ないつてゐるやら地らず

に渡るのか一寸不明だが中央銀れるが、その中ごの位日系官車

行あたりでの觀測によるさ

カ新京城内の貨幣変易所で

日時

廿一日午後六時迄

内外、その中内地で

書書骨董

展觀正札賣立會

所 敷島町商工會議所二階

主催

脇

電話三五六七番

結り様々ないといいます。 變つた男の申込

なこを能して、 を がの者い男の にさころ 常人が があ者い男の にさころ 常人が がある が見して を でして でして を でして でして を の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 いふ申込みが宇都宮州移所に飛びいふ申込みが宇都宮州移町の根が中でのでは、東京特電十九日襲、神移所の模 塾った結婚申込者は東京市本所品がある、この 盛り 二十二圓の新高値を見せたので上りの國路は去る十七日には百 品騰を續げた銀質のお強て、網のも先月末頃から猛烈な勢ひで 系官吏が金圓ミ交換する個幣が 東州への送金がなんさ二十 門内の郵便局は押すなくくの

方鰻

まる八月三十日三春町金大道路附 佐野へ定王守駿(こた)はその後を繋 において捜査中十八日夜九時電西 において捜査中十八日夜九時電西 において捜査中十八日夜九時電西 において捜査中十八日夜九時電西 逮捕さる 滿人辻强盜 れたらなア」さは、この不器録れたらなア」さは、この不器録でするのを待つて居てくう少し書ちるのを待つて居てく 十六個にガタ漆ちらたので日あの月経日を前によて十八日には百月経日を前によて十八日には百月経日をある。 に此の良過ぎる語っれたらなア」とは、

差出した、同君は十圓の賣上をを 間七十六銭の賣上高を得て本社に 家 内で實始める事は服るで同様

で行人に本紙が飛ん買つ八日午後四時半頃市内日 市役所へ小學児童

本紙夕刊を賣る相川 4――きのふで譲つた『寫真は日本橋に立つて を前正式に上告を取下げた を前正式に上告を取下げた 判決言渡を受け上告を申立て、 共産黨最高省職部佐野、郷山、三一大ショックを奥へた第二次日本 朝向繁明を登表し、左翼陣警 度を受け上告を申立て、來一(未決五百五十日通算)の

丁田村の三名は五月十一日夫々懲役

の手 入港船毎に放送される筈である 歌歌 見窓の人を警ばした、これから出歌が 見窓の人を警ばした、これから出歌い 影響に纏かつた 丸の時より放送を開始し 上告取下げ 鍋山ら 死一名ありは下殿探中 子署員に捕逮された、尚ほ外に共

頃の一本氣な氣質から自殺で 八日午後に至るも歸宅せず、日八日午後に至るも歸宅せず、日本後に至るも歸宅せず、日 中職して家出 生郷二二世紀 生郷一二世紀 生郷一二世紀 生郷一二世紀 生郷一二世紀 生郷一二世紀 生郷一二世紀 生郷一二世紀 生郷一二世紀 生郷 一二世紀 生産 大連市長 に

有田焼の座談會

を表して、 を関係では他し終つく同會の秋 る座職會を開催し終つく同會の秋 も座職等を開催し終つく同會の秋 堂

名物



間町(城の殿)

一般の病は薬やかな人生の黒雲でより、大きで不明する等談に振めなもの、本が、一般の病は薬やかな人生の黒雲でよって不明する等談に振めなもの、本が、 大きな はなりません 中風・ツ

材料一式 本商會

體置

花ヨナ ない 127.500.000.-

碧 能貴町八十七 借入四〇三電 (ケ良ハ産)

・星…を御指命

東京·大阪·神戸·大連·奉天·哈蘭竇

大連市山縣通十四大倉ビル

對立教二回戰

0

てん

Joy of the Tasto 發滿賣洲 日本各地名産· 一周年記念賣出し 界各國連類 十月三十一日まで 较 食料品 抝 9

常の体配の後常恵大で現在数機を江の大地水の結果ハルビン野機を江の大地水の結果ハルビン野 罹災民を救濟 ひかりゃから のぞみ。

※山敷七、三〇、安東

**華天釜山間の直通列車** 

つて社会事業職合会は中央部で

大連市山縣通」四 大連盛進高行